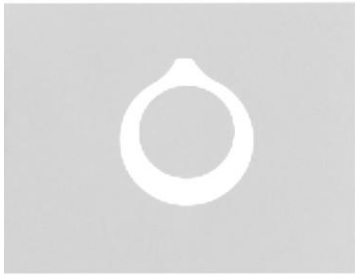


平成26年度

小山町の教育

小山町教育委員会



町章

一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャルOを基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。考案者は用沢の山崎先一さんで、富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

*****小山町民憲*****

わたくしたちは、富士のもと水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。
1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

町制施行70周年記念にあわせて一般町民に公募、昭和57年12月5日制定。

町の木／ふじざくら

富士山麓に多く自生し、樹高は3～6mの小喬木で、小さな花をつける。花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びている。まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉も小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適している。

4月～6月にかけ、葉が伸びる前、一斉に開花する。



町の花／なのはな

10月ごろ、高畝にした田圃に種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3～4月に黄色い十字花を咲かす。花はアブラナに似てやや小形である。また開花する前の柔らかい蕾は、茎から摘まれ、塩漬けにして地域の特産物、水掛菜（とう菜）とされ各地に出荷している。

町の鳥／うぐいす

「ホーホケキョ」の鳴き声はだれでも知っている。春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材に。スズメよりやや小さく、体色は地味でオスはメスより大きく、その差が極端。「ケキョ」の部分が富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声をもっともよいという。特に須走に多く生息。



目 次

I 小 山 町 の 概 要

1 位 置 と 地 勢	1
2 沿 革	2
3 人 口 ・ 世 帯 数 の 推 移	3

II 教 育 行 政

1 教 育 委 員 会〔歴 代 教 育 委 員 長 ・ 教 育 長 ・ 教 育 委 員〕	4
2 教 育 委 員 会 機 構 図 お よ び 事 務 分 掌	6
3 平 成 26 年 度 基 本 方 針 ・ 教 育 施 策	7
4 教 育 費 予 算	11
5 民 生 費 予 算	14

III 学 校 教 育 等

1 学 校 教 育 関 係 等 主 要 事 業	17
2 幼 稚 園 ・ 保 育 園 ・ こ ど も 園 の 目 標 等	19
3 小 ・ 中 学 校、幼 稚 園、保 育 園、こ ど も 園 一 覧 表	20
4 小 山 町 立 学 校 通 学 区 一 覧	22
5 学 校 の 位 置 と 標 高	22
6 小 ・ 中 学 校、幼 稚 園、保 育 園、こ ど も 園 施 設 の 状 況	23
7 小 学 校 在 籍 者 数 の 推 移	24
8 中 学 校 在 籍 者 数 の 推 移	24
9 幼 稚 園 在 園 者 数 の 推 移	25
10 保 育 園 ・ こ ど も 園 在 園 者 数 の 推 移	25
11 教 職 員 の 構 成	26
12 中 学 校 卒 業 後 の 進 路	27
13 今 後 5 か 年 の 就 学 児 童 推 定 表	27
14 就 学 奨 励 援 助	28
15 育 英 奨 学 資 金	30
16 学 校 保 健	31
17 日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー	33
18 学 校 給 食	34

Ⅳ 社会教育

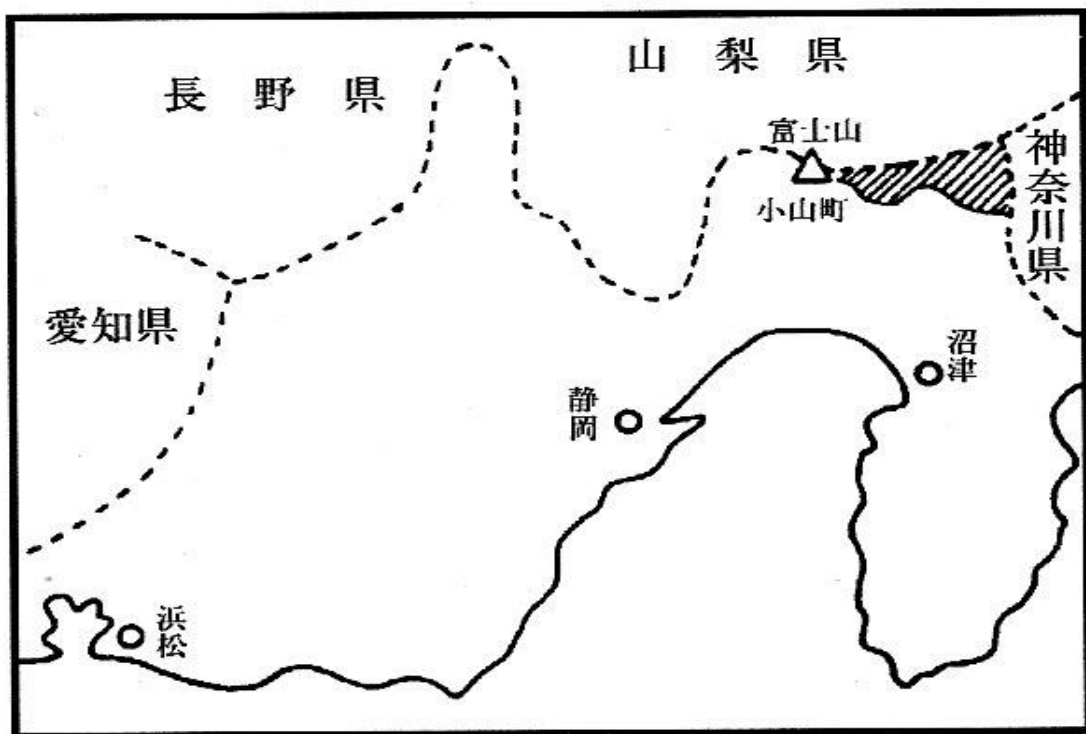
1 社会教育委員	35
2 生涯学習	35
3 芸術文化	41
4 文化財保護	43
5 小山町文化財地名表	46
6 図書館	47
7 自主文化関係事業	49
8 社会体育	50
Ⅴ 小山町教育機関等配置図	53

I 小山町の概要

1 位置と地勢

小山町は、静岡県の中東端(北緯35° 21′ 東経138° 59′)に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している。西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と北東方は丹沢山地(不老山930m)に東南方は箱根外輪山(金時山1,213m)と足柄山嶺(足柄峠759m)に囲まれ、東西に26.04km、南北に13.33kmと東西に長く延び、面積は136.13km²である。市街地、農耕地は、海拔およそ300～800mの間にわたる緩傾斜地地帯にある。河川は、源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ酒匂川となって相模湾にそそいでいる。気候は、気温の年較差が大きく湿度の高い地形で、冬は寒さが厳しいが、盛夏の朝夕の気温は低く、しのぎ易い。

当地を主要交通幹線道としての東名高速道路、国道246号、国道138号、東富士五湖道路そして県道8路線が走り、JR御殿場線と共に、産業、観光両面に重要な役割を果たしている。



面積	136.13km ²
人口	19,661人
世帯数	7,475世帯

(H26. 4. 1)

2 沿革

当地は、平安時代後半から戦国時代初期にかけて、御殿場市の鮎沢辺りを中心とする伊勢神宮の荘園、大沼鮎沢御厨の一部であったと言われている。中世には竹之下の合戦が行われ、足柄峠や籠坂峠は交通の要衝となっていたという記録も残っている。江戸時代には、町域の大部分が小田原藩領だった。しかし、宝永4年(1707)の富士噴火により全村幕府領となったものの、その後15か村は小田原藩領に復すこととなった。

明治になり、いく度かの変遷を経て、明治22年町村制の施行により六合村(小山、生土、中島、柳島、湯船、藤曲の各旧村)、菅沼村(旧菅沼村)足柄村(竹之下<所領>、新柴、桑木の各旧村)、北郷村(用沢、棚頭、大御神、中日向、上野、阿多野、吉久保、下古城、大胡田、上古城、下小林、一色、古沢の各旧村)、須走村(旧須走村)の5か村に統合された。

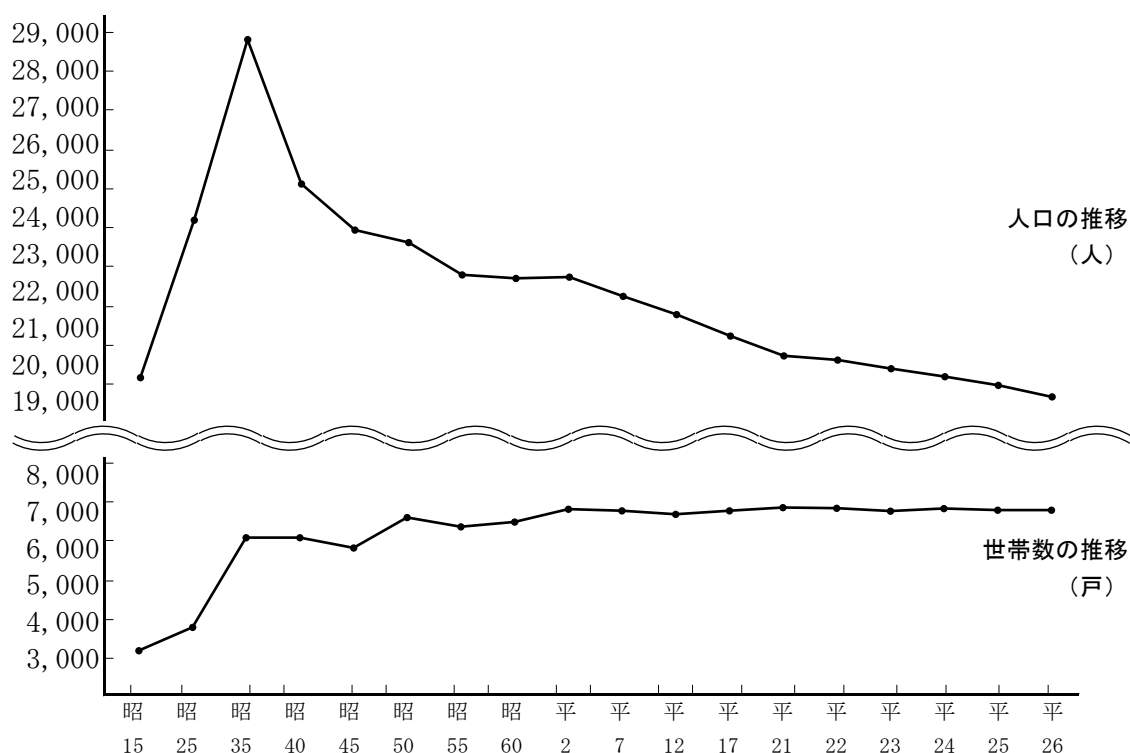
大正元年8月1日に六合村と菅沼村が合併して町制をしき、小山町となった。その後、町村合併促進法施行により、昭和30年4月1日には足柄村が、昭和31年8月1日には北郷村が、昭和31年9月30日には須走村がそれぞれ小山町に合併し、新小山町が誕生、現在の町域に拡大した。平成24年8月1日には、町制施行100周年を迎えた。

3 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

地区 年	小 山		足 柄		北 郷		須 走		計	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
昭和15年	2,345	13,912	277	1,632	649	4,189	92	433	3,363	20,166
25年	2,844	16,803	337	1,961	753	4,922	113	592	4,047	24,278
35年	2,887	15,418	288	1,615	628	3,962	2,869	7,994	6,672	28,989
40年	2,990	14,606	298	1,565	694	3,816	2,691	5,232	6,673	25,219
45年	2,934	13,543	338	1,549	794	3,959	2,300	4,966	6,366	24,017
50年	3,460	12,228	403	1,675	1,179	4,817	2,219	4,976	7,261	23,696
55年	3,080	10,989	399	1,641	1,343	5,437	2,165	4,785	6,987	22,852
60年	3,082	10,789	432	1,676	1,491	5,777	2,120	4,512	7,125	22,754
平成 2年	3,132	10,345	424	1,711	1,553	5,911	2,393	4,823	7,502	22,790
7年	2,945	9,647	473	1,755	1,688	6,104	2,354	4,782	7,460	22,288
12年	2,710	8,799	550	2,006	1,698	6,036	2,396	4,973	7,354	21,814
17年	2,595	8,049	608	2,068	1,745	5,909	2,511	5,225	7,459	21,251
21年	2,576	7,618	652	2,129	1,823	5,893	2,500	5,098	7,551	20,738
22年	2,562	7,529	648	2,119	1,831	5,912	2,493	5,062	7,534	20,622
23年	2,546	7,370	659	2,146	1,839	5,882	2,403	5,005	7,447	20,403
24年	2,635	7,347	652	2,081	1,811	5,803	2,423	4,957	7,521	20,194
25年	2,625	7,258	661	2,081	1,840	5,801	2,354	4,826	7,480	19,966
26年	2,592	7,082	665	2,063	1,858	5,797	2,360	4,719	7,475	19,661

●グラフでみる人口・世帯数の推移



Ⅱ 教育行政

1 教育委員会

〔教育委員および教育長〕

職 名	氏 名	性別	任 期
委 員 長	やま ぐち けい 今朝治	男	平成28年11月30日
委 員	さい とう ひろ 人	男	平成28年 3月31日
〃	いな 穂 けい 子	女	平成27年 7月 2日
〃	よね やま よし 子	女	平成28年 3月31日
教 育 長	あま の ふみ 子	女	平成28年11月30日

〔歴代教育委員長・教育長〕

〈教育委員長〉

氏 名	就任年月日	退任年月日
小野 義則	昭和32年 9月 1日	昭和42年 9月30日
稲 鉄房	昭和42年10月13日	昭和46年 4月 9日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和51年 4月 1日	昭和55年 9月30日
湯山 英夫	昭和55年12月 3日	昭和58年 2月26日
米山 豊彦	昭和58年 7月 4日	平成 4年 3月31日
野木 美佑	平成 4年 4月 1日	平成 8年 6月30日
喜多 淳隆	平成 8年 7月 2日	平成12年11月30日
横山 明夫	平成12年12月 1日	平成14年 9月30日
米山 彰	平成14年10月 1日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成18年 8月11日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成19年 7月 4日	平成20年11月30日
尾崎 宏也	平成20年12月 1日	平成26年 9月30日
山口今朝治	平成26年10月 1日	現 在

〈教 育 長〉

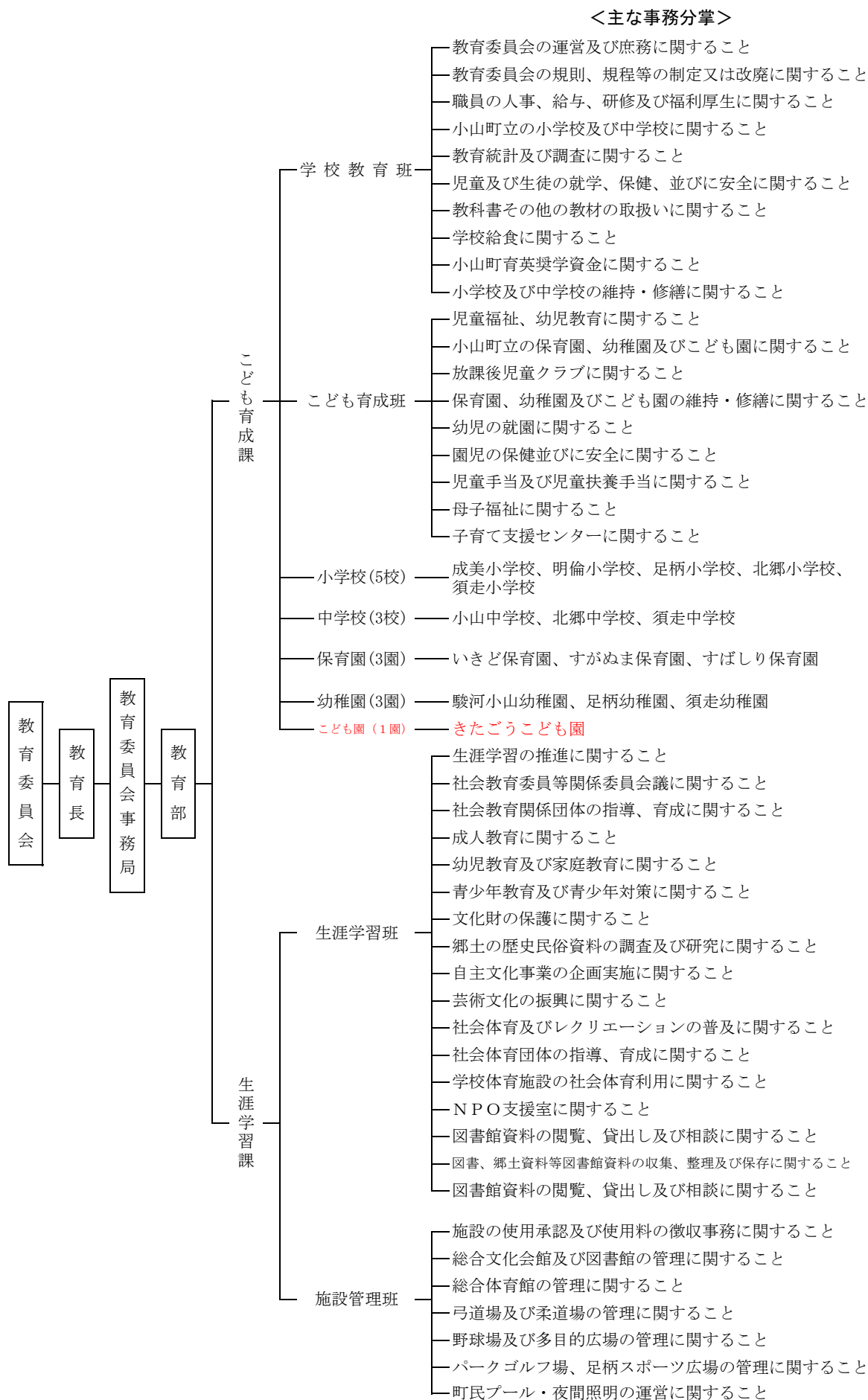
氏 名	就任年月日	退任年月日
尾崎 幸雄	昭和33年10月 1日	昭和49年 3月 9日
池谷 典男	昭和49年 4月17日	昭和53年 3月22日
渡辺 諄一	昭和53年 4月20日	昭和54年 9月30日
	昭和54年12月12日	昭和55年 9月30日
天野 隆	昭和55年12月10日	昭和63年11月30日
稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
嶋田 實雄	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 1日
岩田 正憲	平成 9年 4月21日	平成16年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
天野 文子	平成24年12月 1日	現 在

〔歴代教育委員〕

氏 名	就任年月日	退任年月日
永原 正雄	昭和31年10月 1日	昭和32年 7月20日
小見山聞一	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日
芹澤 寛哉	昭和31年10月 1日	昭和35年 9月30日
小野 義則	昭和31年10月 1日	昭和42年 9月30日
湯山 松興	昭和31年10月 1日	昭和49年12月17日
長田 富雄	昭和32年 8月30日	昭和35年 9月30日
尾崎 幸雄	昭和32年12月24日	昭和49年 3月 9日
小見山権十	昭和35年10月14日	昭和39年 9月30日
田代 和男	昭和35年10月14日	昭和43年 9月30日
稲 鉄房	昭和39年10月 1日	昭和46年 4月 9日
高村 一男	昭和42年12月15日	昭和46年 4月 9日
池谷 二市	昭和43年10月 3日	昭和47年10月 2日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和46年 6月15日	昭和54年 9月30日
鈴木 繁	昭和47年10月 3日	昭和50年 8月19日
池谷 典男	昭和49年 3月23日	昭和53年 3月22日
湯山 英夫	昭和50年 4月 1日	昭和58年 2月26日
渡辺 諄一	昭和50年10月 9日	昭和54年 9月30日
	昭和54年11月22日	昭和55年 9月30日
米山 豊彦	昭和51年 4月 1日	平成 4年 3月31日
岩田 章	昭和53年 7月26日	昭和61年 7月25日
岩田 亮一	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
天野 隆	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
野木 美佑	昭和58年 7月 2日	平成 8年 6月30日
藤曲 秀夫	昭和61年10月 1日	昭和62年 7月11日

氏 名	就任年月日	退任年月日
岩田喜久治	昭和62年 7月16日	平成 2年 9月30日
稲 鈿泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
喜多 淳隆	昭和63年12月 1日	平成12年11月30日
福山 宗順	平成 2年10月 1日	平成 6年 9月30日
嶋田 實雄	平成 4年 4月 1日	平成 9年 4月 1日
田代 六男	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 7日
横山 明夫	平成 6年10月 1日	平成14年 9月30日
末光 愛正	平成 8年 7月 1日	平成11年 7月 2日
米山 元	平成 9年 4月15日	平成11年 4月 9日
岩田 正憲	平成 9年 4月15日	平成16年11月30日
米山 彰	平成11年 5月18日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成11年 7月 3日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成12年12月 1日	平成20年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
鈴木 俊一	平成19年 7月 3日	平成23年 7月 2日
米山 珠江	平成18年 8月11日	平成24年 3月31日
吉岡 道隆	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
尾崎 宏也	平成14年10月 1日	平成26年 9月30日
齊藤 広人	平成20年 4月 1日	現 在
稲 恵子	平成23年 7月 3日	現 在
米山 芳子	平成24年 4月 1日	現 在
山口今朝治	平成24年12月 1日	現 在
天野 文子	平成24年12月 1日	現 在

2 教育委員会機構図および事務分掌



3 平成26年度基本方針・教育施策

(1) 基本方針

近年、全世界においては国際化・高度技術化が、国内においては少子高齢化、価値観の多様化が、加速度的に進展しています。このような変化の激しい21世紀の世界を生きていく子どもたちには、あふれる情報を取捨選択し、幅広い知識と柔軟な思考に基づき的確な判断をする力（知育）、他者を尊重し周囲との適切な人間関係を結びながら自己実現を求めている力（徳育）、心身ともに健康に生涯を生き抜く力（体育）が求められます。

子どもをとりまくこのような状況の中、国においては平成18年に教育基本法が改正され小学校では平成23年度、中学校では平成24年度から実施される新学習指導要領の教育理念として「生きる力」を育むことが引き続き明示されました。県においては平成23年3月「静岡県教育基本振興計画」が策定され「『有徳の人』の育成」が示されています。

小山町では、「第4次小山町総合計画2011～2020」において、「自主自立」「健体康心」「協働・共創」の基本理念と、将来像「富士をのぞむ活気あふれる交流のまち おやま」が示され、目標を立て問題解決に向けて行動していく人（自主自立）、健やかな心身を持ち生き方や毎日が明るく楽しい人（健体康心）、小山町に住むことに誇りを感じ喜びをわかちあえる人（協働・共創）の育成をめざしています。

小山町教育委員会では、このような状況と現状を踏まえながら、各市町教育委員会や関係機関と連携し、将来像「富士をのぞむ活気あふれる交流のまち おやま」にむけて、教育に関わる環境づくりや体制づくりについて以下の取組みを中心に推進していきます。

① 心豊かな生涯学習の推進

・生涯学習の推進 ・図書館サービス事業の充実 ・人材の活用、育成 など

② 地域文化の振興と青少年の育成

・地域文化活動の推進 ・家庭、地域社会における青少年の育成 など

③ スポーツ・レクリエーションの活動の振興

・指導者、団体の育成 ・スポーツ、レクリエーションの推進 など

④ 生きる力を育む学校教育の充実

・確かな知性を身につける学校教育 ・豊かな感性と健やかな心身を育む教育
・安心な教育施設の整備 など

⑤ 国際交流の推進

・国際理解教育の推進 ・ALT配置事業の実施 など

⑥ 子育て支援の充実

・子育てしやすい環境の整備 ・子育て相談体制の充実 など

平成26年度 小山町教育委員会グランドデザイン（教育方針）

小山町民憲章

わたくしたちは、富士のもと 水と緑にめぐまれていることに誇りを持ち、
金太郎のように、健康で、明るい、豊かなまちづくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。

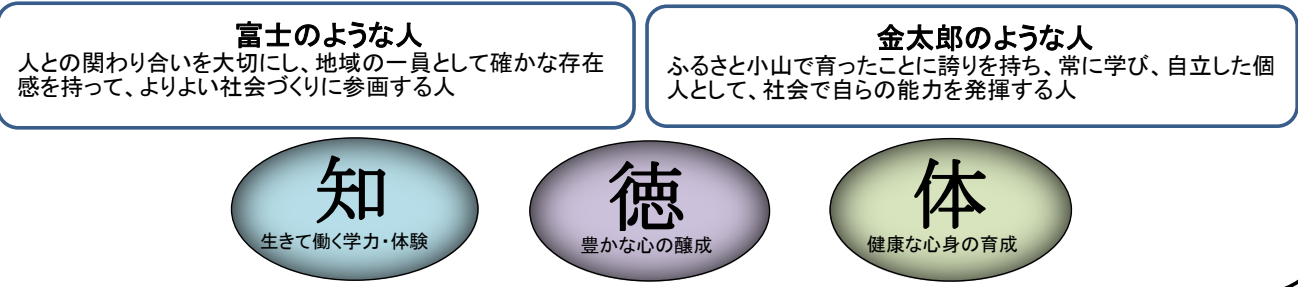
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。

1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。

1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。

小山町教育委員会がめざす人間像

美しく凛として立つ富士のような、強くて優しい金太郎のような人
～生きて働く力を学び続ける小山の教育～



(●●●●●●●●は事業内容と各年代の関連を示します)

心豊かな生涯学習の推進

- ◎生涯学習の推進●●●●●●●●
- ・生涯学習講演会、生涯学習フェスティバルの実施
- ◎学習機会の提供●●●●●●●●
- ・自主文化事業、各種講座、教室の開催
- ◎図書館サービス事業の充実●●●●●●●●
- ・図書館ボランティアによる読書活動、夜間延長開館の実施
- ・ブックスタート、セカンドブックの充実
- ◎人材の活用・育成●●●●●●●●
- ・生涯学習指導者による各種教室の開催
- ◎生涯学習環境の整備●●●●●●●●
- ・文化会館、体育館の改修工事実施
- ◎情報提供と町民ニーズの反映●●●●●●●●
- ・情報誌の発行

誰もが活躍できる男女共同参画の推進

- ◎男女共同参画の推進●●●●●●●●
- ・男女共同参画の啓発
- ・男女の人権を尊重する教育や事業の推進

地域交流・国際交流の推進

- ◎地域間交流の推進●●●●●●●●
- ・交流市町の児童生徒との富士登山
- ・広島市への平和都市訪問
- ◎国際理解教育の推進●●●●●●●●
- ・中学生の海外派遣事業(国際友好協会との連携)
- ・ALTの派遣事業

幼児教育・子育て支援の充実

- ◎幼・保・こども園から始まる小山町の人づくり●●●●●●●●
- ・きたごうこども園の開園、職員研修の推進
- ・「遊び」の充実による豊かな社会性の育成
- ・相談活動の充実、外部機関との連携による発達支援
- ◎子育て支援の充実●●●●●●●●
- ・保育園の「待機児童なし」の継続
- ・ファミリーサポート事業、子育て支援センター、放課後児童クラブの充実
- ◎児童福祉の推進●●●●●●●●
- ・児童虐待防止の働きかけ、相談体制の強化
- ・関係諸機関との情報の共有

充実期

壮年期

子育て期

青年期

学校教育

幼児教育

地域文化の振興と青少年の育成

- ◎地域文化活動の推進●●●●●●●●
- ・町民文化祭、文芸誌の発刊
- ◎郷土資源・文化財の活用●●●●●●●●
- ・文化財の活用普及
- ◎家庭・地域社会における青少年の育成●●●●●●●●
- ・中学生ボランティアの充実
- ・子ども会、青年団活動への援助
- ・青少年活動指導者リーダーの育成、成人式の開催

スポーツ・レクリエーション活動の振興

- ◎指導者、団体の育成●●●●●●●●
- ・スポーツ推進委員、少年スポーツ指導者の育成
- ◎スポーツ・レクリエーションの推進●●●●●●●●
- ・町民体育大会、各種スポーツ大会の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの支援
- ・一人一運動の推進

町民との協働・共創

- ◎協働・共創の仕組みづくり●●●●●●●●
- ・将来の地域活動等への参加につながる体験活動の重視
- ・まちづくりのリーダーとなる人材の育成

生きる力を育む学校教育の充実

- ◎確かな学力を身につける教育の推進●●●●●●●●
- ・少人数、TT指導の充実
- ・授業アドバイザーの配置
- ・低学年支援員、特別支援員の配置
- ・特別支援教育総合推進事業
- ・低学年書道科の実施
- ・町教育研究校の指定、教育研究奨励賞設置
- ◎豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進●●●●●●●●
- ・こども相談員の配置、適応指導教室の設置
- ・人権教育、道徳教育の推進
- ・安全でおいしい給食、食育の推進
- ・生徒指導連絡会の充実
- ◎安心・安全な学びの場の整備●●●●●●●●
- ・学校図書館支援員の配置、蔵書の充実●●●●●●●●
- ・学校施設、教材、備品の整備
- ・育英奨学制度の周知

小山に育ち 生きる人

(2) 主な教育施策

① 心豊かな生涯学習の推進

○生涯学習の推進

- ・生涯学習推進委員大会、講演会の開催
- ・生涯学習フェスティバルの開催

○学習機会の提供

- ・自主文化事業の実施
- ・各種講座、教室の開催

○図書館サービス機能の充実

- ・図書館ボランティアによる読書活動の実施
- ・夜間延長開館の実施
- ・ブックスタートの充実

○人材の活用及び育成

- ・ボランティアバンクの推進
- ・生涯学習指導者による各種教室の開催

○生涯学習環境の整備

- ・文化会館、総合体育館のリニューアル調査の実施

○情報提供と町民ニーズの反映

- ・情報誌の発行

② 地域文化の振興と青少年の育成

○地域文化活動の推進

- ・町民文化祭の開催
- ・文芸誌の発刊

○郷土資源及び文化財の活用

- ・文化財の活用普及
- ・古文書解読育成事業の実施

○家庭・地域社会における青少年の育成

- ・子ども会、青年団活動への援助
- ・青少年活動指導者リーダーの育成
- ・成人式の実施

③ スポーツ及びレクリエーションの活動の振興

○指導者及び団体の育成

- ・体育指導委員活動の推進
- ・少年スポーツ指導者育成講習会の開催

○スポーツ及びレクリエーションの推進

- ・町民スポーツ祭等各種スポーツ大会の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの支援
- ・レクリエーションスポーツ祭の開催

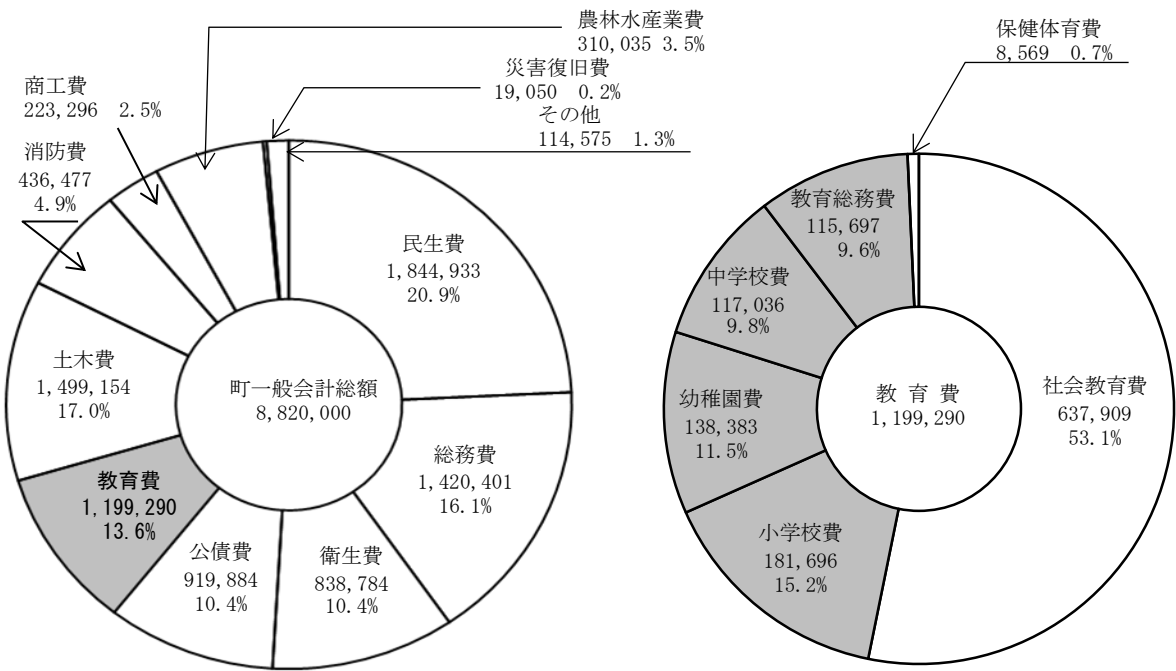
- ④ 生きる力を育む学校教育の充実
 - 確かな力を育む学校教育の充実
 - ・少人数・T T授業の実施
 - ・低学年支援員、特別支援員の配置
 - ・特別支援教育の充実
 - ・子ども相談員による巡回相談の実施
 - ・授業アドバイザーの配置
 - ・人権教育の推進
 - ・学校図書館の充実のための支援員の配置
 - 豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進
 - ・道徳の時間を要とした心の教育の推進
 - ・食育の推進
 - ・安全でおいしい学校給食の実施
 - ・生徒指導連絡会の充実
 - 家庭教育及び幼児教育の推進
 - ・わくわくランド、ぺんぎんランドの充実
 - ・子ども相談員による巡回相談の実施
 - 信頼のある安心な学びの場の整備の推進
 - ・小中学校耐震事業の実施
 - ・教材備品、図書の整備
 - ・遊具、体育器具の安全点検
 - ・情報教育の充実
 - ・開かれた学校づくりの推進
 - ・育英奨学制度の周知
- ⑤ 地域間交流及び国際交流の推進
 - 国際理解の推進
 - ・A L T配置事業の実施
- ⑥ 子育て支援の充実
 - 子育てしやすい環境の整備
 - ・幼保一体化事業の実施
 - ・「待機児童なし」の継続実施
 - ・ファミリーサポート事業の推進
 - ・放課後児童クラブの充実
 - DV及び児童虐待防止の啓発や働きかけ、相談体制の強化
 - ・関係機関との相談体制の強化

4 教育費予算

平成26年度教育費予算（当初予算）は11億9,929万円で、前年度に比べ3億1,004万5千円の増額（前年度比134.9%）となり、町一般会計予算88億2千万円の13.6%（前年度9.8%）となっている。主な増額の要因は、生涯学習施設リニューアル工事によるものである。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算

(単位：千円)



(2) 教育費予算の推移（当初予算額）

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	教 育 費 総 額	町予算に対する割合
平 成 14 年 度	8,760,000	976,372	11.1%
平 成 15 年 度	8,120,000	969,023	11.9%
平 成 16 年 度	8,950,000	1,397,389	15.6%
平 成 17 年 度	8,445,000	1,854,690	22.0%
平 成 18 年 度	7,890,000	1,153,567	14.6%
平 成 19 年 度	8,280,000	1,269,143	15.3%
平 成 20 年 度	8,795,000	871,882	9.9%
平 成 21 年 度	9,416,000	1,287,440	13.7%
平 成 22 年 度	8,910,000	1,510,157	16.9%
平 成 23 年 度	8,530,000	1,426,441	16.7%
平 成 24 年 度	7,760,000	820,305	10.6%
平 成 25 年 度	9,120,000	889,245	9.8%
平 成 26 年 度	8,820,000	1,199,290	13.6%

(3) 平成26年度教育費予算の内訳

(単位：千円)

	26年度 予 算	25年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
9. 教育費	1,199,290	889,245	310,045	85,678	19,200	136,449	957,963
1. 教育総務費	115,697	106,272	9,425	0		7,236	108,461
1. 教育委員会費	1,463	1,463	0				1,463
2. 事務局費	114,234	104,809	9,425			7,236	106,998
2. 小学校費	181,696	173,136	8,560	416	0	0	181,280
1. 学校管理費	168,680	160,987	7,693	416			168,264
2. 教育振興費	13,016	12,149	867				13,016
3. 中学校費	117,036	124,023	△6,987	2,926	0	0	114,110
1. 学校管理費	105,773	112,506	△6,733	2,926			102,847
2. 教育振興費	11,263	11,517	△254				11,263
4. 幼稚園費	138,383	152,540	△14,157	0	0	115,004	23,379
1. 幼稚園費	138,383	152,540	△14,157			115,004	23,379
5. 社会教育費	637,909	326,395	311,514	82,336	19,200	13,379	522,994
1. 社会教育総務費	67,441	75,565	△8,124	11,013		30	56,398
2. 生涯学習推進費	2,254	3,402	△1,148			100	2,154
3. 図書館費	21,488	20,647	841			8	21,480
4. 生涯学習センター管理費	533,319	213,383	319,936	71,323	19,200	5,531	437,265
5. 自主文化事業費	13,407	13,398	9			7,710	5,697
6. 保健体育費	8,569	6,879	1,690	0		830	7,739
1. 保健体育総務費	8,569	6,879	1,690			830	7,739

① 人口1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
教 育 費	1,426,441,000	1,331,822,406	903,471,000	1,199,290,000
人 口 (年 度 末)	20,194	19,966	19,661	(年度当初) 19,661
1人当たりの教育費	70,637	66,705	45,952	60,998

② 児童1人当たりの小学校費

(単位：円/人)

年度 区分	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
小 学 校 費	630,033,252	364,359,155	174,459,000	181,696,000
児童数(5月1日現在)	1,112	1,072	1,072	1,010
1人当たりの小学校費	566,577	339,887	162,742	179,897

③ 生徒1人当たりの中学校費

(単位：円/人)

年度 区分	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
中 学 校 費	166,066,706	401,166,549	129,128,000	117,036,000
生徒数(5月1日現在)	594	562	528	493
1人当たりの中学校費	279,574	713,819	244,561	237,396

④ 園児1人当たりの幼稚園費

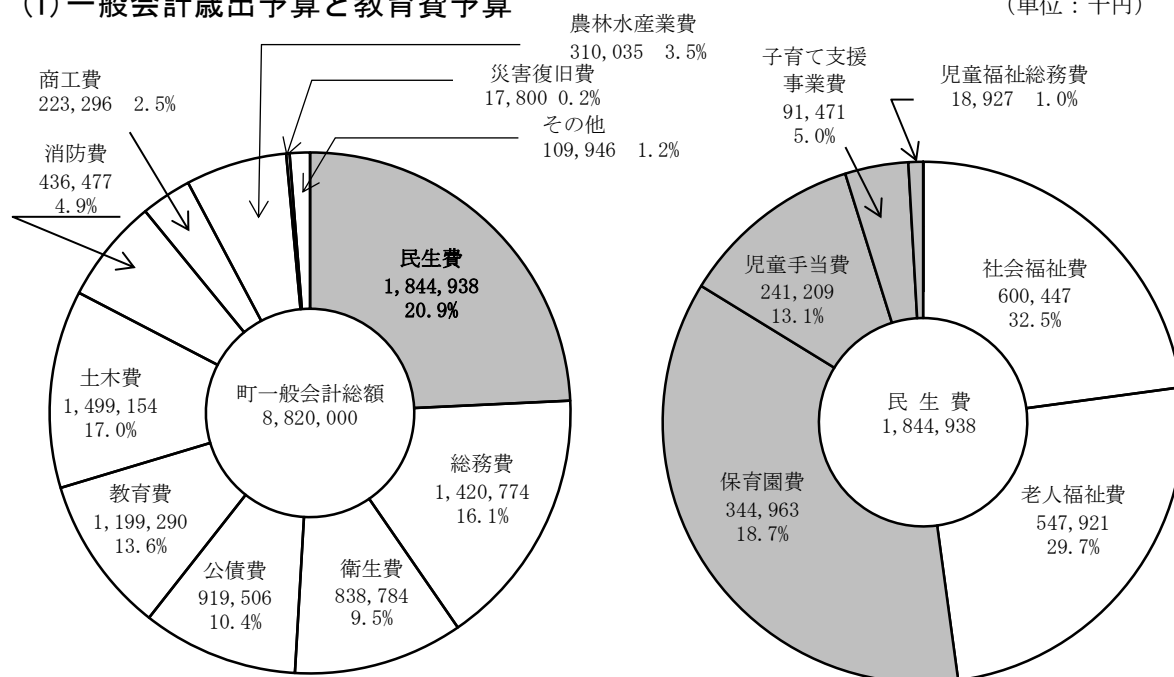
(単位：円/人)

年度 区分	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
幼 稚 園 費	155,939,613	160,106,299	149,059,000	152,540,000
園児数(5月1日現在)	322	327	292	203
1人当たりの幼稚園費	484,285	489,622	510,476	751,429

5 民生費予算

平成26年度児童福祉費(当初予算)は、6億9,657万円で、前年度に比べ4億5,666万5千円の減額(前年度比△39.6%)となり、そのうち、保育園費3億4,496万3千円、子育て支援事業費9,147万1千円で民生費予算18億4,493万8千円となっている。
主な減額の要因は、きたごうこども園の工事完了によるものである。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算



(2) 民生費予算の推移(当初予算額)

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	民 生 費 総 額	町予算に対する割合
平 成 14 年 度	8,760,000	1,235,100	14.1%
平 成 15 年 度	8,120,000	1,383,125	17.0%
平 成 16 年 度	8,950,000	1,426,071	15.9%
平 成 17 年 度	8,445,000	1,423,408	16.9%
平 成 18 年 度	7,890,000	1,477,147	18.7%
平 成 19 年 度	8,280,000	1,523,442	18.4%
平 成 20 年 度	8,795,000	1,580,681	18.0%
平 成 21 年 度	9,416,000	1,597,313	17.0%
平 成 22 年 度	8,910,000	1,949,769	21.9%
平 成 23 年 度	8,530,000	2,024,887	23.7%
平 成 24 年 度	7,760,000	1,782,161	23.0%
平 成 25 年 度	9,120,000	2,211,360	24.2%
平 成 26 年 度	8,820,000	1,844,938	20.9%

(3) 平成26年度民生費予算の内訳

(単位：千円)

	26年度 予 算	25年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
3. 民生費	1,844,938	2,211,360	△366,422	544,830	0	177,256	1,122,853
1. 社会福祉費	508,882	505,347	3,535	228,271	0	6,477	274,134
1. 社会福祉総務費	77,747	78,919	△1,172	502		10	77,235
2. 障害者福祉費	303,657	304,374	△717	194,590		3,768	105,299
3. 健康福祉会館管理費	30,943	24,638	6,305	1,725		2,699	26,519
4. 国民健康保険費	90,143	90,916	△773	26,703			63,440
5. 国民年金事務取扱費	6,392	6,500	△108	4,751			1,641
6. 臨時福祉給付金等事業	91,565		91,565	91,565			0
2. 老人福祉費	547,921	552,778	△4,857	23,528	0	14,853	509,540
1. 老人福祉総務費	91,066	100,331	△9,265	4,304		5,527	81,235
2. 介護保険費	245,357	235,912	9,445				245,357
3. 後期高齢者医療費	211,498	216,535	△5,037	19,224		9,326	182,948
3. 児童福祉費	696,570	1,153,235	△456,665	247,248	0	155,926	293,396
1. 児童福祉総務費	18,927	20,028	△1,101	11,673			7,254
2. 児童手当費	241,209	252,093	△10,884	203,212			37,997
3. 保育園費	344,963	794,282	△449,319	5,028		155,846	184,089
4. 子育て支援事業費	91,471	86,832	4,639	27,335		80	64,056

① 人口1人当たりの民生費

(単位：円/人)

年度 区分	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
民 生 費	1,770,137,382	1,751,198,262	2,168,506,467	1,844,938,000
人 口 (年 度 末)	20,194	19,966	(年度当初) 19,661	(年度当初) 19,661
1人当たりの民生費	87,657	87,709	110,295	93,837

② 園児1人当たりの保育園費

(単位：円/人)

年度 区分	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)
保 育 園 費	331,404,123	334,407,460	767,058,743	344,963,000
園児数(5月1日現在)	347	338	357	430
1人当たりの保育園費	955,055	989,371	2,148,624	802,240

Ⅲ 学校教育等

1 学校教育関係等主要事業

(1) 研究、研修の推進

- ・ 校長及び教頭研修
学校経営、教員研修、生徒指導他当面の問題等
- ・ 生徒指導主事(任)研修の実施と生徒指導の充実
「学校いじめ防止基本方針」の策定による「いじめ」の早期発見・早期対応、
不登校児童生徒への対応、問題行動への対応、生徒理解等
- ・ 町指定研究校
足柄小学校
北郷中学校
- ・ 町初任者研修会、10年経験者研修、5年経験者研修、2年次研修 実施
- ・ 特別支援教育推進事業 ・ 教頭研修会
- ・ 支援員研修会 ・ 金太郎勉強会
- ・ 研修主任研修会 ・ 菜の花講座（若手教員研修会）

(2) 校内研修の推進

- ・ 自校の課題に沿って研修、研究を進める。
- ・ 駿東地区教育研究会に参加し、各校の教育実践をもとに研修を深める。

各校の研究主題(テーマ)

- ・ 成美小学校 「わかる喜び、学ぶ楽しさを実現できる授業の創造」
～問題解決学習における学習活動の工夫～
- ・ 明倫小学校 「自分の気持ちや考えを表現できる子」
～かかわり合いをとおして考えを深めていく授業をめざして～
- ・ 足柄小学校 「思いや考えをつなげて学び合える子の育成」
～みんなで伝え、考え、解決する子～
- ・ 北郷小学校 「全校体制で取り組む外国語活動」
～コミュニケーション力を高めるための効果的な展開例～
- ・ 須走小学校 「子どもの思いを生かした授業をめざして」
- ・ 小山中学校 「学び合い、認め合いのある授業・活動で『つなぐ』、『高める』」
～『確かな学力の育成』『温かな学級づくり』を両輪として～
- ・ 北郷中学校 「自ら粘り強く学ぶ生徒の育成」
～思考過程を大切にした授業展開～
- ・ 須走中学校 「教師の授業力向上と生徒の学力向上が直結する「明快な授業」」
～ルーブリック表やパフォーマンス課題を下敷きにして～

(3) 幼稚園・保育園・こども園研修の推進

小山町幼保の会研修テーマ

「生きる力の基礎を培う保育の創造」

各園の研修テーマ

- ・駿河小山幼稚園 : 「子どもが自らかかわり、創り出す保育の工夫」
- ・足柄幼稚園 : 「遊びや生活の中で、自分の思いや考え方を表現できる子を目指して」
- ・須走幼稚園 : 「子ども一人一人の良さを捉え、道徳性の芽生えを培う保育の工夫」
- ・いきど保育園 : 「明るく、のびのびと活動できる子の育成を目指して」
- ・すがぬま保育園 : 「一人一人のよさをみつけながら、聞くことが楽しさにつながる保育の工夫」
- ・すばしり保育園 : 「ことばの豊かさを育む保育の工夫」
～自分の思いや考えをことばで表現する力の育成～
- ・きたごうこども園 : 「幼児と共に創る環境のあり方」
～一人一人が安心して遊び込める保育の工夫～

(4) 教職員教育論文の奨励

- ・小山町教育研究奨励賞の授与

(5) 健康教育

- ・学校保健安全委員会の活動と健康教育の充実
- ・校内体力テストの実施
- ・御殿場小山陸上競技記録会への参加
- ・「のびゆくこども」の編集刊行

(6) 思いやり豊かな心を育てる

- ・三世代主張大会 町老人クラブ連合会主催支援
- ・サマーショートボランティア活動計画
静岡県ボランティア協会主催・町社会福祉協議会共催
- ・老人福祉施設等訪問交流
- ・地域美化活動への参加

(7) 平和教育の推進

- ・小山町立中学校に在籍する生徒が広く平和のすばらしさや命の重みについて深く考えながら自尊心の高揚を図るため、被爆地である広島市等へ生徒6名を広島に派遣する。派遣後、見聞したことについて、校内をはじめ、町の平和の集い等発表の場において、広く平和な生活のすばらしさや命の重みについて、その考えや思いを伝える。

(8) 適正な就学指導と理解啓発

- ・町教育支援委員会:年2回実施のほか、随時相談活動を進める。

(9) 小学校・中学校・幼稚園・保育園・こども園の教育環境の整備充実

- ・各小・中学校・幼稚園・保育園・こども園の施設および備品等の整備

2 幼稚園・保育園・こども園の目標等

(1) 幼稚園・保育園・こども園の目標

- ・駿河小山幼稚園 : 仲良く遊ぶ駿河小山っ子
- ・足柄幼稚園 : 金太郎ような足柄っ子
- ・須走幼稚園 : 目の輝く須走っ子
- ・いきど保育園 : 心も体も輝く子
- ・すがぬま保育園 : のびのびあそぶげんきな子
- ・すばしり保育園 : 富士のもと心豊かなたくましい子
- ・きたごうこども園 : 富士のもののびやかにあそぶ子

(2) 幼稚園・保育園・こども園における歳児別保育目標

- ・0歳児：保育者と触れ合いがかかわり合いながら、安定した気持ちで過ごす。
清潔で安全な保育環境で健康に過ごす。
- ・1歳児：生理的欲求が満たされ、生活リズムが安定する。
保育者に親しみをもちながら、安心して過ごす。
- ・2歳児：保育者に見守れながら生活の仕方を知り、自分でできることはしようとする。
身近な人や友達とかかわりながら好きな遊びを楽しむ。
- ・3歳児：身の回りの生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
保育者や友達と触れ合いながら一緒に過ごす楽しさを感じる。
思ったことや感じたことを自分なりに表現する。
- ・4歳児：日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
友達や保護者とかかわりを深め楽しく遊ぶ中で自分の思いを出したり、友達の思いに気づいたりする。
身近な出来事や自然に興味や関心を持ち親しむ。
遊びの体験を広げのびのびと表現する。
- ・5歳児：意欲的に遊びや生活に取り組むと共に、主体的に行動して充実感を味わう。
生活の中で様々なものに触れ、好奇心・探究心を深める。
友達とかかわりを深め、協力し合う大切さを知り、思いやりの心を持つ。
自分の気持ちを表現すると共に、伝わる喜びや伝え合う心地よさを味わう。

3 小・中学校、幼稚園、保育園、こども園一覧表

(1) 小学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	創立 年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	児童数			学 年 別 児 童 数					
						男	女	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
成美小学校	明7. 3	藤曲150	76-0063 76-0876	高村 芳章 瀬戸 貢	6	90	76	166	30	24	27	27	28	30
明倫小学校	明43. 11	菅沼627	76-0064 76-0051	藤田 貴久 藪下 清美	(2) 8	(1) 83	(1) 68	(2) 151		28	24	22	(1) 31	(1) 22
足柄小学校	明42. 12	竹之下2411-1	76-0596 76-0327	岩瀬 守 北條 和広	6	45	48	93	10	18	16	12	20	17
北郷小学校	明14. 10	用沢604-1	78-0520 78-0500	鈴木 幸 古谷 永子	(1) 12	(1) 146	(1) 143	(2) 289		(1) 49	(1) 57		43 39	53
須走小学校	明7. 5	須走70-18	75-2730 75-2729	金澤 勝 小松 孝和	(2) 13	(4) 171	(4) 140	(8) 311	(2) 77	(3) 53	(2) 57	(1) 38		46 40
合 計					(5) 45	(6) 535	(6) 475	(12) 1, 010	(2) 189	(4) 172	(3) 181	(1) 142	(1) 164	(1) 162

()は特別支援学級・児童数、内数

(2) 中学校

(平成26年5月1日現在)

学校名	創立 年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	生徒数			学年別生徒数		
						男	女	計	1年	2年	3年
小山中学校	昭22. 4	藤曲142	76-0154 76-0308	滝口 盛治 勝村 康幸	(2) 10	(2) 121	(2) 100	(4) 221	(2) 68	(2) 77	
北郷中学校	昭22. 4	用沢355	78-0514 78-0585	土屋 行広 中村 康雄	(1) 6	(2) 71		(2) 161	(1) 69	(1) 41	
須走中学校	昭22. 4	須走99-7	75-2004 75-2088	岩瀬 次夫 小宮 隆	(1) 5	(3) 60		(3) 111	(2) 39	(1) 43	
合 計					(4) 21	(7) 252	(2) 241	(9) 493	(5) 176	(4) 161	

()は特別支援学級・児童数、内数

(3) 幼稚園

(平成26年5月1日現在)

園 名	創立 年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数		
						男	女	計	3歳児	4歳児	5歳児
駿河小山幼稚園	平22.4	小山289-1	76-0479	村松 千賀子	3	20	31	51	17	13	21
足柄幼稚園	昭35.4	竹之下2430	76-0584	齊藤 美栄	3	7	23	30	9	9	12
須走幼稚園	昭31.4	須走83	75-2710	岩田 博子	6	67	55	122	42	42	38
合 計					12	94	109	203	68	64	71

(4) 保育園

(平成26年5月1日現在)

園 名	創立 年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数					
						男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
いきど保育園	昭31.9	生土132-1	76-0423	天野 ひとみ	6	32	22	54	3	5	12	12	8	14
すがぬま保育園	昭38.11	菅沼1074-1	76-0429	小野 美幸	6	38	41	79	5	10	17	14	15	18
すばしり保育園	昭30.9	須走153	75-2720	杉山 由美子	6	46	44	90	3	10	10	23	24	20
合 計					18	116	107	223	11	25	39	49	47	52

(5) こども園

(平成26年5月1日現在)

園 名	創立 年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名 副園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数					
						男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
きたごうこども園	平26.4	用沢207-1	78-0504	田代 照子 鈴木 あけみ	10	116	91	207	3	20	23	47	51	63

4 小山町立学校通学区一覧

(1) 通常学級の通学区

学校名	通 学 区 域
成美小学校	小山1区～4区、生土区、音湊区、中島区、柳島区、湯船区、藤曲区、落合区
明倫小学校	南藤曲区、茅沼区、菅沼区、坂下区、谷戸区、大脇区、原向区、所領区
足柄小学校	向方区、宿区、新柴区、桑木区
北郷小学校	用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区、下古城区、大胡田区、上古城区、一色区
須走小学校	上本町区、下本町区、下原区、東原区、緑ヶ丘区、雲雀ヶ丘区
小山中学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区
北郷中学校	北郷小学校の通常学級の通学区
須走中学校	須走小学校の通常学級の通学区

(2) 特別支援学級(知的障害)の通学区

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区
北郷小学校	北郷小学校の通常学級の通学区
須走小学校	須走小学校の通常学級の通学区
小山中学校	小山中学校の通常学級の通学区
北郷中学校	北郷中学校の通常学級の通学区
須走中学校	須走中学校の通常学級の通学区

(3) 特別支援学級(自閉症・情緒障害)の通学区

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区
須走小学校	北郷小学校及び須走小学校の通常学級の通学区
小山中学校	小山中学校、北郷中学校及び須走中学校の通常学級の通学区

5 学校の位置と標高

学 校 名	緯 度	経 度	標 高
成 美 小 学 校	35° 21' 36"	138° 59' 16"	3 0 0 m
明 倫 小 学 校	35° 21' 10"	138° 58' 41"	3 2 1 m
足 柄 小 学 校	35° 19' 46"	138° 59' 09"	3 4 2 m
北 郷 小 学 校	35° 20' 28"	138° 56' 49"	4 4 6 m
須 走 小 学 校	35° 21' 39"	138° 52' 21"	7 8 2 m
小 山 中 学 校	35° 21' 29"	138° 59' 23"	2 8 5 m
北 郷 中 学 校	35° 20' 39"	138° 56' 57"	4 4 5 m
須 走 中 学 校	35° 21' 44"	138° 52' 18"	7 8 9 m

6 小学校、中学校、幼稚園、保育園、こども園施設の状況

小学校

平成26年5月1日 現在

学校名	校舎等の現状						校地の状況			付属施設		
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計	屋外運動施設	
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月					プール	建設年月
成美小学校	m ²	m ²		m ²	m ²		m ²	m ²	m ²	m ²		
		4,166 225 校:S59.7 給:S59.8			1,126 屋:S54.3		5,517	8,755	11,328	20,083	50*15 ・22.5*4.5	S34.9 S51.3
明倫小学校		4,391			1,126							
		3,656 148 校:S60.7 給:S60.9			(1,123) 屋:S53.3		3,804	8,377	5,745	14,122	25*13 ・13*5	H10.6
		3,804			(1,123)		(4,927)					
足柄小学校		2,192 313 校:S61.3 給:S61.10			474 屋:S46.2 倉:S52.3		3,014	4,082	10,864	14,946	(25*12) ・(60m ²)	S47.8
		2,505		35	474							
		1,800 2,802 校:S54.3 校:H1.3 給:S54.3			(1,126) 屋:S56.3		4,857	13,005	7,035	20,040	(25*12) ・(10*10)	S48.8
北郷小学校		255 給:S54.3					(5,983)					
		4,857			(1,126)							
	須走小学校		179 4,168 校:S50.12 校:S62.10 給:H10.3			1,557 屋:H24.2		5,438	12,375	11,558	23,933	25*17 ・25*5.2
		5,438			1,557							

※（ ）は地区児童屋内体育館

※（ ）は地区町民プール
・印は低学年用

中学校

学校名	校舎等の現状						校地の状況		
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月			
小山中学校	m ²	m ²		m ²	m ²		m ²	m ²	m ²
		1,755 校:S49.3 3,480 校:H22.11 708 給:H9.3			(1,479) 屋:S57.3 416 格:H24.1		(7,838)	15,412	7,614
北郷中学校		3,574 校:H8.12 546 給:H8.12			312 格:S60.3 1,497 屋:H23.1		5,929	15,634	23,805
		4,120			1,809				39,439
須走中学校		3,995 校:H17.10 47 校:H17.10 145 校:H21.7			279 格:S55.3 1,664 屋:H21.7		6,130	9,419	13,206
		4,187			1,943				22,625

※（ ）は地区児童屋内体育館

幼稚園・保育園・こども園

	園舎等の現状						園地の状況		
	園舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月			
駿河小山 幼稚園	m ²	m ²		m ²	m ²		m ²	m ²	m ²
		482 園:H3.3 63 園:H22.3					545	1,212	1,698
足柄幼稚園	55	498 園:S61.11 園:S62.3					553	928	828
	55	498							1,756
須走幼稚園		1,122 園:H13.7					1,122	2,449	3,446
	-	1,122			-				5,895
いきど 保育園		639 園:S59.3					639	300	2,786
	-	639							3,086
すがぬま 保育園		722 園:H6.3					722	396	2,655
	-	722							3,051
すばしり 保育園		674 園:S53.3					674	1,153	1,039
	-	674							2,192
きたごう こども園	1,961	園:H26.3					1,961	2,015	2,786
	1,961	-							4,801

7 小学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	成美小学校		明倫小学校		足柄小学校		北郷小学校		須走小学校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
昭和50年	17	574	(1) 13	(4) 369	6	110	12	392	17	566	(1) 65	(4) 2,011
昭和60年	14	513	(1) 12	(4) 320	6	157	16	577	13	460	(1) 61	(4) 2,027
平成7年	12	385	(1) 11	(5) 261	6	128	13	433	14	418	(1) 56	(5) 1,625
平成12年	11	289	(1) 7	(5) 187	6	125	12	419	12	413	(1) 48	(5) 1,433
平成20年	7	209	(2) 8	(4) 173	6	137	11	336	(1) 13	(3) 377	(3) 45	(7) 1,232
平成21年	7	195	(2) 8	(6) 174	6	128	(1) 12	(2) 327	(1) 13	(2) 399	(4) 46	(10) 1,223
平成22年	6	182	(2) 8	(6) 168	6	119	(1) 11	(2) 314	(1) 13	(2) 380	(4) 44	(10) 1,163
平成23年	6	168	(2) 8	(7) 163	6	113	(1) 11	(1) 301	(1) 13	(3) 367	(4) 44	(11) 1,112
平成24年	6	151	(2) 8	(7) 163	6	106	(1) 11	(2) 296	(1) 13	(5) 356	(4) 44	(14) 1,072
平成25年	6	155	(2) 8	(4) 158	6	98	(1) 12	(2) 305	(1) 13	(6) 327	(4) 45	(12) 1,043
平成26年	6	166	(1) 7	(2) 151	6	93	(1) 12	(2) 289	(2) 13	(8) 311	(4) 44	(12) 1,010

()は特別支援学級・児童数、内数

8 中学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山中学校		北郷中学校		須走中学校		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
昭和50年	(1) 16	(11) 585	6	193	6	201	(1) 28	(11) 979
昭和60年	(1) 15	(6) 571	8	296	6	173	(1) 29	(6) 1,040
平成7年	(1) 13	(2) 447	8	252	3	114	(1) 24	(2) 813
平成12年	(1) 13	(2) 413	6	197	5	145	(1) 24	(2) 755
平成20年	(1) 10	(1) 284	6	181	(1) 7	(2) 143	(2) 23	(3) 608
平成21年	(1) 10	(1) 296	(1) 7	(2) 181	(1) 6	(1) 134	(3) 23	(4) 611
平成22年	(2) 11	(4) 280	(1) 7	(3) 183	(1) 5	(3) 127	(4) 23	(10) 590
平成23年	(2) 11	(5) 285	(1) 7	(2) 176	(1) 5	(3) 133	(4) 23	(10) 594
平成24年	(2) 11	(3) 274	(1) 7	(1) 165	(1) 5	(2) 123	(4) 23	(6) 562
平成25年	(2) 11	(4) 247	(1) 6	(2) 153	(1) 6	(4) 128	(4) 23	(10) 528
平成26年	(2) 10	(4) 221	(1) 6	(2) 161	(1) 5	(3) 111	(4) 21	(9) 493

()は特別支援学級・児童数、内数

9 幼稚園在園者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山幼稚園			駿河幼稚園			足柄幼稚園			北郷幼稚園			須走幼稚園			合 計									
	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計						
昭和50年	33	35	68	/	45	35	80	/	32	23	55	/	56	47	103	/	81	55	136	/	247	195	442		
昭和60年	33	33	66		15	16	31		17	20	37		32	45	77		56	47	103		153	161	314		
平成 7 年	25	27	52		20	19	39		12	18	30		40	44	33		117	68	64		132	40	169	161	370
平成12年	25	41	66		17	16	26		59	19	17		36	45	40		33	118	56		49	105	62	156	166
平成17年	13	17	30	15	13	10	38	10	14	12	36	30	18	34	82	58	56	71	185	113	114	144	371		
平成21年	8	10	18	10	11	9	30	8	7	13	28	28	24	20	72	61	49	53	163	107	99	105	311		
平成22年	/			駿河小山幼稚園			12	11	7	30	22	26	24	72	47	59	46	152	100	108	97	305			
19				12	20	51																			
平成23年				23			21	12	56	4	13	9	26	23	21	24	68	57	58	57	172	107	113	102	322
平成24年				21			24	21	66	11	4	12	27	30	24	22	76	40	67	51	158	102	119	106	327
平成25年				11			22	24	57	8	11	4	23	26	34	24	84	33	37	58	128	78	104	110	292
平成26年				17	13	21	51	9	9	12	30	/			42	42	38	122	68	64	71	203			

※平成22年4月1日：小山幼稚園と駿河幼稚園の統合により駿河小山幼稚園として開園。

※平成26年3月31日：北郷幼稚園廃止。

10 保育園・こども園在園者数の推移

(各年度4月1日現在)

区分 年度	(旧) 藤曲保育所							いきど保育園							すがぬま保育園						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
昭和50年	12			20	30	28	90	14			23	33	18	88	14			38	31	27	110
昭和60年	8			27	30	25	90	1	12		26	29	31	99	11			27	30	42	110
平成7年	2			5	9	14	30	1	6		15	16	18	56	4	15		12	9	12	52
平成12年								0	5	11	20	14	20	70	2	8	12	14	15	15	66
平成17年								3	7	6	20	11	17	64	2	12	15	19	20	16	84
平成21年								2	6	12	13	13	16	62	2	12	19	24	21	24	102
平成22年								0	5	13	11	13	12	54	5	6	18	22	25	21	97
平成23年								2	7	11	15	12	14	61	2	12	16	22	22	26	100
平成24年								2	9	5	13	15	14	58	1	7	14	17	20	21	80
平成25年								3	9	13	9	13	13	60	5	10	11	16	16	20	78
平成26年								3	5	12	12	8	14	54	5	10	17	14	15	18	79

※平成9年3月31日：藤曲保育所廃止。

区分 年度	きたごう保育園							すばしり保育園							合 計						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
昭和50年	17			40	25	26	108	7			30	29	23	89	64			151	148	122	485
昭和60年	11			35	46	50	142	16			30	23	28	97	47			145	158	176	526
平成7年	13			16	20	31	80	7			14	10	24	55	27			62	64	99	252
平成12年	2	4	11	21	27	20	85	4	10	9	10	22	17	72	8	27	43	65	78	72	293
平成17年	2	7	10	30	21	22	92	3	15	17	15	27	5	82	10	41	48	84	79	60	322
平成21年	3	7	18	24	18	18	88	5	12	12	14	14	24	81	12	37	61	75	66	82	333
平成22年	7	13	12	27	23	18	100	5	13	16	12	15	12	73	17	37	59	72	76	63	324
平成23年	7	13	24	16	26	22	108	6	11	14	18	11	19	79	17	43	65	71	71	81	348
平成24年	3	16	18	30	17	26	110	1	16	15	19	22	18	91	7	48	52	79	74	79	339
平成25年	7	16	23	24	28	18	116	3	8	21	25	25	22	104	18	43	68	74	82	73	358
平成26年								3	10	10	23	24	20	90	11	25	39	49	47	52	223

※平成26年3月31日：きたごう保育園廃止。

区分 年度	きたごうこども園							合 計						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
平成26年	3	20	23	47	51	63	207	3	20	23	47	51	63	207

※平成26年4月1日：北郷幼稚園ときたごう保育園を統合によりきたごうこども園開園。

1 1 教職員の構成

平成26年5月1日現在（単位：人）

職 名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	5		5	3		3	8		8
教 頭	3	2	5	3		3	6	2	8
教 諭	24	(4) 27	(4) 51	27	(1) 12	39	51	(5) 39	(5) 90
養 護 教 諭		(1) 6	(1) 6		3	3		(1) 9	(1) 9
講 師		4	4	1		1	1	4	5
栄 養 教 諭		1	1					1	1
事 務 職 員		5	5	1	2	3	1	7	8
非 常 勤 講 師		2	2		6	6		8	8
カウンセラー (非常勤)				2		2	2		2
合 計	32	(5) 47	(5) 79	37	(1) 23	(1) 60	69	(6) 70	(6) 139
町 費 職 員		3	3		1	1		4	4
町非常勤講師 (支援員含)		19	19		3	3		22	22
町臨時職員 (事務・用務・給食員等)		29	29		11	11		40	40

()は産休・育休職員、内数

1 2 中学校卒業後の進路

	小山中学校				北郷中学校				須走中学校				合 計			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
7年度	141			141	89	1		90	35			35	265	1		266
	100.0			100.0	98.9	1.1		100.0	100.0			100.0	99.6	0.4		100.0
13年度	124	2	1	127	74	1	1	76	49	1		50	247	4	2	253
	97.6	1.6	0.8	100.0	97.4	1.3	1.3	100.0	98.0	2.0		100.0	97.6	1.6	0.8	100.0
14年度	129		2	131	52		1	53	41	1	1	43	222	1	4	227
	98.5		1.5	100.0	98.1		1.9	100.0	95.4	2.3	2.3	100.0	97.8	0.4	1.8	100.0
15年度	98		2	100	75	1	1	77	45	2		47	218	3	3	224
	98.0		2.0	100.0	97.4	1.3	1.3	100.0	95.7	4.3		100.0	97.3	1.3	1.3	100.0
16年度	109	1	2	112	65	2		67	47		2	49	221	3	4	228
	97.3	0.9	1.8	100.0	97.0	3.0		100.0	95.9		4.1	100.0	96.9	1.3	1.8	100.0
17年度	83	1		84	69	2		71	37			37	189	3		192
	98.8	1.2		100.0	97.2	2.8		100.0	100.0			100.0	98.4	1.6		100.0
19年度	90	3		93	79	2		81	45			45	214	5		219
	96.8	3.2		100.0	97.5	2.5		100.0	100.0			100.0	97.7	2.3		100.0
20年度	81	1	1	83	62	2		64	46			46	189	3	1	193
	97.6	1.2	1.2	100.0	96.9	3.1		100.0	100.0			100.0	97.9	1.6	0.5	100.0
21年度	117	1	1	119	50			50	49			49	216	1	1	218
	98.4	0.8	0.8	100.0	100.0	0.0		100.0	100.0			100.0	99.1	0.5	0.5	100.0
22年度	83	1	1	85	67			67	43			43	193	1	1	195
	97.6	1.2	1.2	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.0	0.5	0.5	100.0
23年度	88	3		91	64			64	39			39	191	3	0	194
	96.7	3.3	0.0	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	98.5	1.5	0.0	100.0
24年度	103			103	53			53	36	1		37	192	1	0	193
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			100.0	97.3	2.7		100.0	99.5	0.5	0.0	100.0
25年度	93			93	61			61	46	1		47	200	1	0	201
	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0			100.0	97.9	2.1		100.0	99.5	0.5	0.0	100.0

1 3 今後5か年の就学児童推定表

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
成美小学校	166	163	150	148	144
明倫小学校	149	148	134	130	125
足柄小学校	93	101	97	99	95
北郷小学校	287	297	310	312	307
須走小学校	303	323	348	379	372
合 計	998	1,032	1,039	1,068	1,043

「平成26年度以降の児童数等調査より」

1 4 就学奨励援助

教育の機会均等を確保するため、要保護及び準要保護者に対して、就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支援しています。さらに、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の振興のために奨励費を支給しています。

(1) 平成26年度要保護及び準要保護児童・生徒数

平成26年5月1日現在

学 校 名	児童生徒総数	要保護	準要保護	計	援助率
成 美 小 学 校	166 人	人	14 人	14 人	8.43 %
明 倫 小 学 校	151		17	17	11.25
足 柄 小 学 校	93		1	1	1.07
北 郷 小 学 校	289		3	3	1.03
須 走 小 学 校	311	2	7	9	2.89
小 学 校 計	1,010	2	42	44	4.35
小 山 中 学 校	221		9	9	4.07
北 郷 中 学 校	161		4	4	2.48
須 走 中 学 校	111	2	5	7	6.30
中 学 校 計	493	2	18	20	4.05
区域外通学者(中学生)					-

(2) 平成25年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費実績

(単位：円)

校 種 別 区 分		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学 用 品 費 通 学 用 品 費 校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	第 1 学 年	8	88,800	8	173,600
	その他の学年	35	510,104	20	543,994
	計	43	598,904	28	717,594
校外活動費(宿泊を伴うもの)		8	7,937	12	44,360
新入学児童生徒学用品費等		8	119,400	8	183,200
修学旅行費		5	122,451	16	965,734
医 療 費			0		0
学 校 給 食 費		43	2,018,984	28	1,665,784
合 計			2,867,676		3,576,672

(3) 平成26年度特別支援学級在籍者数

平成26年5月1日現在

学 校 名	在籍者
明 倫 小 学 校	2
北 郷 小 学 校	2
須 走 小 学 校	8
小 学 校 計	12
小 山 中 学 校	4
北 郷 中 学 校	2
須 走 中 学 校	3
中 学 校 計	9

(4) 平成25年度特別支援教育就学奨励費実績

(単位：円)

校 種 別 区 分		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学校給食費		12	248, 118	4	114, 471
交 通 費	通学費 (自家用車)	1	38, 000	0	0
	交流学习費	11	11, 880	8	15, 650
修学旅行費		3	30, 450	1	27, 400
校 外 活 動 費	宿泊なし	10	7, 550	4	4, 360
	宿泊あり	1	1, 470	3	6, 555
新入学児童生徒学用品費等		3	29, 850	3	34, 350
学用品等購入費	新入学年	3	5, 550	4	10, 890
	その他学年	9	44, 400	6	10, 850
合 計			417, 268		224, 526

1 5 育英奨学資金

教育委員会では、昭和38年度に「小山町育英奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例」を制定し、将来の有望な人材を育成することを目的として、優良な生徒で経済的理由によって修学が困難な学生に毎年、学資を貸与しています。

現在の貸与金額は、大学生が月額30,000円、高校生が12,000円で卒業後1年間据え置き、2年目から元金のみを3年から5年以内で返還していただいています。

年度	年度当初育英奨学資金原資	新規採用者		貸付者総数		貸与金額 (決算)	償還状況		年度末貸与金額総額
		高校	大学	高校	大学		人数	金 額	
8	15,215,433		2	1	7	2,640,000	5	1,045,000	9,200,000
9	17,235,776		4		11	3,960,000	3	735,000	12,425,000
10	18,171,504		5	1	17	4,680,000	4	1,047,000	16,058,000
11	18,178,870		3	1	19	3,600,000	10	6,311,000	13,347,000
12	18,178,870		1	1	19	3,240,000	9	1,923,000	14,664,000
13	21,189,949		2	1	20	2,520,000	9	1,920,000	15,264,000
14	24,296,608		2		19	2,160,000	13	3,048,000	14,376,000
15	26,296,937	1		1	18	1,224,000	15	4,032,000	11,568,000
16	27,017,043		1	1	16	1,224,000	12	3,000,000	9,792,000
17	26,797,196		3	1	15	2,160,000	10	2,286,000	9,666,000
18	27,297,359		1	1	16	1,800,000	10	2,284,000	9,182,000
19	27,407,409		3	1	16	2,880,000	9	2,270,000	9,792,000
20	27,454,357		1		14	2,880,000	5	1,296,000	11,376,000
21	27,510,256		4		16	3,240,000	4	1,152,000	13,464,000
22	27,539,662	1	3	1	18	3,744,000	7	2,300,000	14,908,000
23	27,550,006	1	4	2	16	2,988,000	8	2,588,000	15,308,000
24	27,555,171	1	7	3	25	5,652,000	10	3,404,000	17,556,000
25	27,559,018	1	2	2	24	4,968,000	10	3,288,000	19,236,000

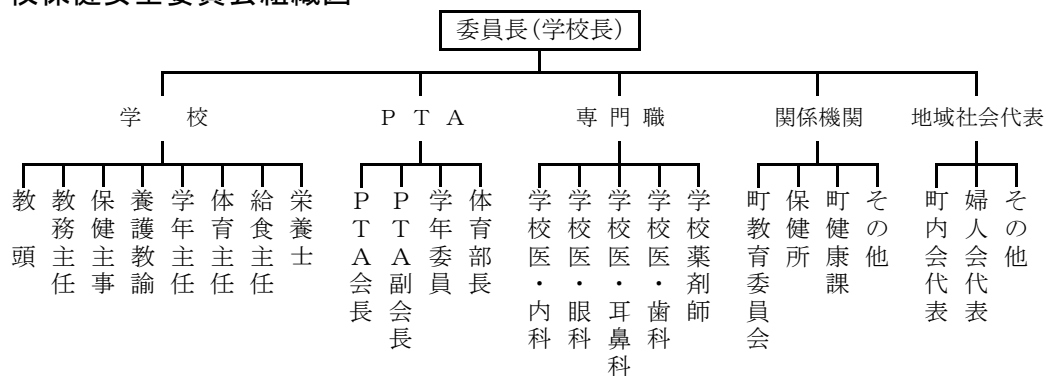
1 6 学校保健

こどもたちの健康保持と増進のため、内科検診をはじめとした各種の健康診断を実施しています。また、各学校ごとに学校保健安全委員会を組織し、保健計画に基づいた安全対策と健康増進を図っています。

(1) 町の保健事業計画

- ① 定期健康診断
- ② 尿検査（対象：小・中・幼全員）
- ③ 心音心電図(心臓)検診（対象：小1、中1）
- ④ 脊柱側弯症検診
- ⑤ 結核健康診断
- ⑥ ぎょう虫卵検査（対象：小・幼・保全員）
- ⑦ 就学時健康診断
- ⑧ 就園時健康診断
- ⑨ 教職員健康診断

(2) 学校保健安全委員会組織図



(3) 校医・校歯科医・校薬剤師一覧（平成26年度）

	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
成美小学校	岩田祥吾	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野篤之	長須賀 恒 雄
明倫小学校	中川靖夫	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	大木長生	長須賀 恒 雄
足柄小学校	中川靖夫	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野義晃	芹澤 一 男
北郷小学校	友成正明	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	鈴木徳夫	長須賀 清 美
須走小学校	田内守之	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	斉藤康裕	田嶋 ゆかり
小山中学校	岩田祥吾	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野篤之	芹澤 一 男
北郷中学校	中川靖夫	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	鈴木徳夫	芹澤 一 男
須走中学校	安田敏男	六 鹿 秀 夫 (富士小山病院)	早間 隆	斉藤康裕	田嶋 ゆかり
駿河小山幼稚園	岩田祥吾			大木長生	長須賀 恒 雄
足柄幼稚園	中川靖夫			小野義晃	芹澤 一 男
須走幼稚園	田内守之			斉藤康裕	田嶋 ゆかり
いきど保育園	岩田祥吾			小野義晃	
すがぬま保育園	中川靖夫			大木長生	
すばしり保育園	安田敏男			村井恵太	
きたごうこども園	友成正明			鈴木徳夫	芹澤 一 男

(4)児童・生徒の体格

(平成26年度)

区 分			小 学 校						中 学 校		
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年
男	身長 cm	町	115.7	● 122.1	127.3	● 132.9	138.0	● 145.0	● 152.1	158.4	● 164.7
		県	115.9	122.0	127.8	132.5	138.4	144.2	151.6	158.7	164.6
		全国	116.6	122.4	128.2	133.6	139.0	145.0	152.3	159.5	165.0
	体重 kg	町	● 21.1	◎ 24.5	◎ 27.6	● 30.4	● 34.0	● 38.1	◎ 45.1	◎ 49.1	● 54.0
		県	21.0	23.7	26.6	29.4	33.4	37.5	42.8	47.8	53.3
		全国	21.3	23.9	27.1	30.4	34.3	38.3	43.9	48.8	54.0
	座高 cm	町	● 64.5	67.4	● 70.1	● 72.6	74.5	◎ 77.7	● 81.0	● 84.8	◎ 88.2
		県	64.4	67.5	70.0	72.1	74.7	77.3	80.9	84.4	87.8
		全国	64.8	67.6	70.2	72.6	75.0	77.6	81.2	84.8	88.1
女	身長 cm	町	114.3	◎ 122.5	125.6	132.4	139.6	● 146.3	● 151.5	◎ 155.1	● 156.5
		県	115.2	120.8	126.7	133.0	139.8	146.2	151.4	154.3	156.0
		全国	115.6	121.6	127.3	133.6	140.1	146.8	151.8	154.8	156.5
	体重 kg	町	● 20.5	◎ 24.2	25.8	28.6	33.6	● 38.6	◎ 44.4	◎ 47.3	◎ 51.6
		県	20.2	23.0	25.9	29.4	33.7	37.9	42.8	46.5	49.0
		全国	20.9	23.5	26.4	30.0	34.0	39.0	43.9	47.1	49.9
	座高 cm	町	63.5	◎ 67.7	69.3	72.0	● 75.6	79.0	81.9	◎ 84.3	84.6
		県	64.2	66.9	69.7	72.4	75.5	79.1	81.9	83.6	84.6
		全国	64.4	67.3	69.9	72.8	75.8	79.3	82.1	83.9	84.9

※ 県平均及び全国平均は、平成25年度文部科学省学校保健統計調査値。

○は全国平均を上回る。 ●は県平均を上回る。 ◎は全国平均・県平均を上回る。

17 日本スポーツ振興センター

(1) 月別災害発生件数

(平成25年度)

区分	在籍数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被災率
成美小	151							2						2	1.3%
明倫小	163				3									3	1.8%
足柄小	106	2												2	1.9%
北郷小	296						2	2		1				5	1.7%
須走小	356		1								1			2	0.6%
計	1,072	2	1	0	3	0	2	4	0	1	1	0	0	14	1.3%
小山中	274				11		1	6		2	1		5	26	9.5%
北郷中	165		2		4		2	3				4	1	16	9.7%
須走中	123	11											2	13	10.6%
計	562	11	2	0	15	0	3	9	0	2	1	4	8	55	9.8%
幼稚園	327									1	1			2	0.6%
保育園	338	3	2		1									6	1.8%
合計	2,299	16	5	0	19	0	5	13	0	4	3	4	8	77	3.3%

(2) 学年別災害発生件数

(平成25年度)

校種	学年別	在籍数	件数	発生率
小学校	1	188		0.0%
	2	163	3	1.8%
	3	181	3	1.7%
	4	172	2	1.2%
	5	193	3	1.6%
	6	172	3	1.7%
中学校	1	166	25	15.1%
	2	202	18	8.9%
	3	194	12	6.2%
幼稚園		327	2	0.6%
保育園		338	6	1.8%

(3) 負傷別・疾病件数

(平成25年度)

種類	小学校	中学校	幼稚園	保育園	合計
骨折	6	14	2	1	23
捻挫	1	16			17
脱臼					0
挫傷・打撲	6	14		2	22
靱帯損傷・断裂		8			8
挫創	1	5		1	7
切創		2			2
刺創					0
割創					0
裂創	1			2	3
擦過創					0
熱傷・火傷					0
歯牙破折	1				1
その他	2	9	1		12
負傷	18	68	3	6	95
疾病					0
計	18	68	3	6	95

1 8 学校給食

(1)経過

小山町の学校給食は、昭和21年に粉乳給食が開始された。さらに子供たちの体位向上を求めて完全給食の実施を望む声があり、昭和30年11月に須走小学校、昭和37年4月成美小学校・明倫小学校・足柄小学校に、同年5月北郷小学校にと町内5つの小学校で、単独校方式の完全給食を開始した。

- ・昭和59年9月：成美小に当町初のドライシステム方式を採用。
- ・昭和60年9月：明倫小にドライシステム方式を採用。
- ・昭和61年10月：足柄小ドライシステム方式を採用し食堂型の給食棟とする。

平成9年2月から北郷中学校で、平成9年4月から小山中学校で、食堂を備えた単独校方式による完全給食を開始した。

つづいて、須走中も平成10年4月から須走小・中学校共同の食堂を備えた給食施設での完全給食を開始した。

(2)給食費

(平成26年度)

区 分	小 学 校	中 学 校
給食費（1人1か月当たり）	4,400 円	5,300 円
給食費徴収回数（年間）	11 回	11 回
給食回数（年間）	183 回	181 回
単 価（1食当たり）	264円 48銭	322円 10銭

IV 社会教育

1 社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき教育委員会が委嘱している。

職務は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての意見具申及びこれらの客観的判断をするための調査・研究などがある。

「小山町社会教育委員条例」では、定数を15人以内、任期を2年と定めている。

任期 平成28年3月31日

役 職	氏 名
委 員 長	高 橋 豊 宏
副 委 員 長	佐 藤 陽 子
委 員	岩 瀬 守
〃	大 室 大
〃	樽 林 一 美
〃	小 見 山 富 枝
〃	近 藤 勝 正
〃	滝 口 盛 治
〃	田 代 治 久
〃	原 秀 人
〃	山 崎 繁
〃	山 本 貢
〃	湯 山 峯 子
〃	渡 辺 光 子

2 生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、高齢化社会になっている中で、一人ひとりが知識や技術を伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、町民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から社会教育の推進を図っていく。

(1) 生涯学習推進委員会委員

任期 当然職在職中

区 分	役 職	氏 名
委 員 長	副 町 長	田 代 章
副委員長	教 育 長	天 野 文 子
〃	社会教育委員長	高 橋 豊 宏
委 員	社会教育委員	岩 瀬 守
〃	〃	大 室 大
〃	〃	樽 林 一 美
〃	〃	小見山 富 枝
〃	〃	近 藤 勝 正
〃	〃	佐 藤 陽 子
〃	〃	滝 口 盛 治
〃	〃	田 代 治 久
〃	〃	原 秀 人
〃	〃	山 崎 繁
〃	〃	山 本 貢
〃	〃	湯 山 峯 子
〃	〃	渡 辺 光 子
〃	老人クラブ代表	長 田 健 男
〃	企画総務部長	室 伏 博 行
〃	住民福祉部長	羽佐田 武
〃	経済建設部長	池 谷 精 市
〃	教 育 部 長	田 代 順 泰
〃	こども育成課長	湯 山 博 一
〃	生涯学習課長	高 橋 裕 司

(2) 生涯学習課施設関係

① 総合文化会館



所 在 地	小山町阿多野130
敷 地 面 積	27,213.24㎡(体育館を含む)
建 物 面 積	5,627.35㎡
延 床 面 積	7,835.48㎡
大 ホ ー ル	996席 車椅子6席 母子11席
開 設	平成4年2月
職 員	13人(図書館含む)
電 話 番 号	76-5700、5701、5722

総合文化会館は、平成4年に開館して以来、毎年多くの方々に利用していただいているが、更に内容の充実を図るなど、町民の生涯学習拠点としての施設づくりを進める。

② 総合体育館・野球場・多目的広場・弓道場・小山道場・パークゴルフ場・夜間照明施設

体育施設は、平成23年度からNP0法人小山町体育協会を指定管理者として管理しており、体育協会や総合型地域スポーツクラブとの連携により、各種教室や大会等を開催し、有効利用を図っている。

③ 「夢ひろば」の発行

生涯学習事業のPR、利用促進につなげていくために、毎月「夢ひろば」を広報おやまに掲載する。

④ 施設利用の利便性の充実のための職員対応

利用者の利便性の充実のために次の対応を行う。

職員の勤務をローテーション化し、窓口では施設利用申請を午後8時30分まで受付している。

(3) 生涯学習関係事業計画

生涯学習推進と啓発のため次の事業を行う。

- ・推進組織の充実とネットワークづくり
- ・生涯学習の啓発
- ・生涯学習情報提供

① 啓発のための講演会開催

- ・期 日 平成26年11月29日（土）
- ・会 場 総合文化会館 金太郎ホール
- ・講 師 森永 卓郎（経済アナリスト）

② 情報提供チラシの各戸配布、ポスターの各区掲示

(4) 視聴覚教育

① フィルム・ビデオテープの利用促進

静岡県教育委員会社会教育課保存のビデオ・DVD等の利用促進を図り、家庭教育に関する学習の教材とする。

(5) 成人教育

① 家庭教育学級の開設奨励と指導

幼稚園、こども園、小学校、中学校PTA会員を対象に開設し、家庭教育の充実を図るとともに、児童の健全育成を進める。

- ・期 日 年間8～10回 1回2時間程度
- ・幼稚園3 こども園1 小学校5 中学校3 計12学級
- ・対象、学級生数、学習目標、プログラム等は学級運営委員会で企画、実行する。
- ・プログラム内容は、「親と子のかかわり」や「親の姿勢」を中心課題とする。

② 成人団体、グループ活動を奨励指導

町内成人団体活動を奨励し、連帯感のある地域づくりを図る。

③ 町民講座の開設

誰でも楽しめるテーマで講座を開設し、町民が気軽に参加できる機会を提供する。

- ・内 容 小山町の火山・温泉・地震
- ・期 日 10月～12月 (3回)
- ・対 象 一般町民

④ こども相談室(なのはな)

家庭を中心とした子どものしつけ、教育、地域問題、親の在り方等に関する教育相談をこども相談員が行う。

- ・会 場 きたごうこども園内 面接指導または電話相談

⑤ 婦人団体の活動援助

自主的な学習活動と地域活動を行う婦人団体を援助し、その活性化を図る。

⑥ 「家庭の日」の啓蒙

家庭教育の一環としての有意義な過ごし方を考え実行する機会とする。

- ・期 日 毎月第3日曜日

(6) 青少年教育

① 青年団体との連携

連合青年団等の青年活動の活性化と地域活動への参加を促進する。

- ・内 容 富士山環境整備美化奉仕 宿泊研修 スポーツ大会
駿東地区青年教育振興協議会等

② 成人式の実施

- ・期 日 平成27年1月11日(日) 10:00～11:45
- ・会 場 総合文化会館 金太郎ホール
- ・内 容 式典

③ 青少年問題協議会の開催

関係機関、団体相互の連絡調整機関としての働きを基盤に青少年の健全育成と青少年の諸問題を協議する。

- ・主として夏と冬に「青少年を守り育てる運動」を展開する。

④ 青少年健全育成の推進

健やかな青少年の育成をめざして、地域住民の意識の高揚と活動を活性化させるための事業を推進する。

- ・内 容 青少年健全育成チラシ配布 青少年補導の実施

⑤ 青少年補導員活動の推進

青少年健全育成のための補導活動と関係機関団体との連絡をとり、住みよい環境づくりを進める。

- ・内 容 補導員会議開催 夏祭り巡回 県下一斉補導の実施
声かけ運動への参加

⑥ 駿東地区青年教育振興協議会の実施

駿東地区の2市3町により研修を通して青年相互の仲間づくりと、青年リーダーの育成を図る。

- ・対 象 18歳～30歳の青年

(7) 青少年問題協議会委員

任期 平成27年3月31日

区 分	氏 名	役 職 名
会 長	込 山 正 秀	小山町長
副 会 長	鷹 嶋 邦 彦	小山町議会議長
〃	天 野 文 子	小山町教育長
委 員	渡 辺 悦 郎	小山町議会文教厚生委員会委員長
〃	田 代 章	小山町副町長
〃	三 原 浩	御殿場警察署署長
〃	山 下 護 國	小山町区長会会長
〃	尾 崎 宏 也	小山町教育委員会委員長
〃	高 橋 豊 宏	小山町社会教育委員会委員長
〃	山 崎 繁	富士学校総務課課長
〃	山 本 修 也	御殿場警察署小山交番長
〃	藤 田 貴 久	明倫小学校校長
〃	滝 口 盛 治	小山中学校校長
〃	鈴 木 照 彦	小山高等学校校長
〃	野 木 文 夫	小山町商工会会長
〃	小見山 富 枝	小山町連合婦人会会長
〃	大 室 大	小山町PTA連合会会長
〃	小見山 聡	小山町青少年補導員代表
〃	米 山 陽一郎	小山町連合青年団団長
〃	田 代 治 久	小山町子ども会育成連合会会長
〃	米 山 芳 子	北駿保護司会小山支部長
〃	渡 邊 武 夫	小山町民生委員・児童委員協議会会長

(8) 青少年補導員

任期 平成27年3月31日

役 職	氏 名	役 職	氏 名
補導員代表	小見山 聡	補 導 員	常 盤 信 之
補 導 員	岩 本 尚	〃	渡 辺 史 武
〃	柳 原 一 利	〃	小 野 恵美子
〃	芹 澤 文 子	〃	土 屋 英 秋
〃	清 野 英 司	〃	大 室 大
〃	勝 又 竜 也	〃	鈴 木 健 司
〃	岡 田 弘	〃	渡 邊 正 宏
〃	高 田 瑛		

3 芸術文化

(1) 趣味の教室・講座の開設

ボランティア支援センターの登録ボランティアや文化連盟等を活用した教室を開催する。

- ・ 陶芸教室 バレエ教室 パソコン教室 ステンドグラス教室
ゴルフ教室、フラダンス教室、消しゴムはんこ教室等を開設
- ・ 対 象 一般町民
- ・ 会 場 総合文化会館

(2) 児童対象事業の実施

児童館を廃止したが、子供たちに豊かな遊びを与え、健康を維持し、情操を豊かにするため、児童の健全な育成と福祉の向上を推進する。

月	事業名	月	事業名
4	ぺんぎんランド	10	ハロウィン工作、ゲーム おもしろ科学教室④ ぺんぎんランド
5	手作り教室①（母の日プレゼント作り） ぺんぎんランド 子ども会ボランティア活動	11	おもしろ科学教室⑤ ぺんぎんランド
6	手作り教室②（父の日プレゼント作り） ぺんぎんランド	12	町子連写生画表彰式 クリスマス会 ぺんぎんランド
7	ぺんぎんランド 町子連親善球技大会	1	ぺんぎんランド
8	親子木工教室 おもしろ科学教室①② ぺんぎんランド	2	節分の会 おもしろ科学教室⑥ わくわくクッキング ぺんぎんランド 生涯学習フェスティバル
9	おもしろ科学教室③ ぺんぎんランド	3	ぺんぎんランド 生涯学習フェスティバル

(3) 町民文化祭の開催等

文化活動の成果発表の機会として文化祭を開催する。

- ・ 第58回文化展
- ・ 第39回音楽祭
- ・ 第32回舞踊祭
- ・ 第19回囲碁祭
- ・ 第16回民踊祭
- ・ 第16回歌謡祭
- ・ 第9回ダンスフェスタ

・ 期 日 10月18日（土）・19日（日）

・ 会 場 総合文化会館

・ 展示内容 文芸 華道 書道 絵画 陶芸 盆栽山草 写真 手芸 茶道等
 小山町各小中学校、小山高校、婦人会

・ 実行委員会を設ける。

(4) 町民文芸誌の発行

文芸誌「駿河路」第84号を発行する。

・ 内 容 創作 紀行文 随筆 詩 俳句 短歌 川柳

(5) 第36回駿河路のつどい開催

短歌、俳句、川柳を同一会場で開催し、文芸に親しむ愛好者の拡大を図る。

・ 期 日 10月30日（木）

・ 会 場 総合文化会館 集会室他

4 文化財保護

(1) 指定文化財の保護

町内の国指定文化財2件、国登録文化財8件、県指定の文化財5件、町指定文化財17件の保護保全に努める。

(2) 文化財の発掘

文化財保護審議会委員を中心に埋もれた郷土の文化財を発掘し、後世に残るよう努める。
また、図書館との連携により地域史資料の収集、保存に努める。

(3) 郷土芸能の育成援助

郷土芸能である「竹之下太鼓」と「大富士公時太鼓」の活動援助のための助成を行う。

(4) 文化財の調査

埋蔵文化財、古文書等の文化財調査を実施し、町民への周知を図る。

(5) 文化財保護審議会委員

任期 平成28年3月31日

職 名	氏 名
委 員 長	樽 林 一 美
副 委 員 長	大 箕 正 之
委 員	湯 山 富 士 子
〃	鈴 木 利 昌
〃	池 谷 正 治
〃	山 本 敦 美
〃	高 梨 俊 夫
〃	荒 川 博 文
〃	田 代 隆 昭

(6) 町内の文化財

① 国指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
特 別 名 称	富 士 山	S27. 11. 22	
史 迹	富 士 山	H23. 2. 7	

② 国登録文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建 造 物	豊門会館(和室)	H17. 11. 10	藤曲144-8 明治42年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建 造 物	豊門会館(洋館)	H17. 11. 10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建 造 物	豊門公園西洋館	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建 造 物	豊門公園正門	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上の門柱。
建 造 物	豊門公園噴水泉	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上で石積み風に目地を入れている。
建 造 物	豊門公園和田君遺恵碑	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。朝倉文夫による独特な意匠。
建 造 物	森 村 橋	H17. 11. 10	小山133-6 明治39年建設。銅製ブラットトラス方式。設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建 造 物	村松家住宅主屋	H20. 7. 8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

③ 県指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
彫 刻	宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像	S60. 3. 19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内剝・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
天 然 記 念 物	富士浅間神社のハルニレ	S38. 2. 19	須走126 幹廻4m・樹高24.5m
天 然 記 念 物	大胡田天神社のイチョウ	S41. 3. 22	大胡田643 幹廻7.6m・樹高20m
天 然 記 念 物	上野のトチノキ	S41. 3. 22	上野299 幹廻7m・樹高40m
天 然 記 念 物	柳島八幡神社の二本杉	S42. 10. 11	柳島168 幹廻5.2m・樹高31m・幹廻5.5m・樹高36m

④ 町指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建 造 物	甘露寺宝篋印塔	S48. 10. 25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建 造 物	嘉慶銘宝篋印塔	S63. 12. 16	菅沼2112-2 梅林内に位置する。
建 造 物	栗の木沢の唯念名号碑	H3. 5. 1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建 造 物	栗の木沢の題目碑	H4. 6. 1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m 厚さ:中0.42m下0.6m
建 造 物	富士山東口本宮富士浅間神社社殿	H18. 8. 24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拝殿が一体化しているという特徴を有す。
史 迹	乗光寺大森六代之墓	S48. 10. 25	生土234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
無形民俗文化財	竹之下太鼓	S59. 12. 21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに端を発する。
天 然 記 念 物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58. 5. 1	湯船371 大:根廻7.5m・目通5.65m・樹高35m 小:根廻5.6m・目通4.26m・樹高30m・樹齢約250年
天 然 記 念 物	上野神明社のアカガシ	S58. 5. 1	上野178 根廻6.1m・目通5.1m・樹高20m・樹齢約300年
天 然 記 念 物	富士浅間神社のエゾヤマザクラ	S58. 5. 1	須走126 根廻2.08m・目通1.75m・樹高8m・樹齢約110年
天 然 記 念 物	富士浅間神社の根上りモミ	H3. 5. 1	須走126 根廻4.61m・目通3.07m・樹高27m・樹齢約300年
天 然 記 念 物	棚頭産神社のスギ	S63. 12. 16	棚頭714 甲:根廻6.45m・目通5.6m・樹高23m 乙:根廻6.4m・目通5.2m・樹高23m・樹齢約400年
天 然 記 念 物	用沢八幡宮の三本スギ	S63. 12. 16	用沢517 根廻10.3m・目通:甲3.4m・乙5m 丙3.5m・樹高約30m・樹齢約300年

彫	刻	坂下区十王堂地藏菩薩坐像	H21.12.16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箔 肉身金泥塗り、玉眼 像高：34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期
絵	画	坂下区十王堂十王図	H21.12.16	菅沼707-1 紙本着色・紙継ぎなし 表装後補 縦：111.4～112.0cm 横：37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書跡・典籍・古文書		坂下区十王堂木食観正宝号軸	H21.12.16	菅沼707-1 絹本墨書・絹継ぎなし 布表装 作者：木食観正 縦：67.9cm 横：33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年)頃
彫	刻	坂下区十王堂石仏	H21.12.16	菅沼707-1 17体 丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高：25.8～41.8cm 延宝8年(1680年)を遡る江戸時代初期

5 小山町文化財地名表

	遺 跡 名	時 代	種 別	所 在 地	地 目	遺 構	遺 物	文 献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第1巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究 1
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ヶ腰)	中世	城館	竹之下字城ヶ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコージ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・柵列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礫	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワゲ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワゲ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空堀・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠Ⅰ遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠Ⅱ遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	堅土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	富士山	特別名勝・史跡						

6 図書館



所在地	小山町阿多野130
建物面積	951.23㎡
蔵書数	106,804冊
開設	平成4年4月
職員	4人
電話番号	76-4270

町民の生涯学習の拠点として、常に身近にあって日々の暮らしに何らかの形で役に立つ図書館を目指し、さらに資料情報センターとしての役割を持ち、心豊かな人づくりをバックアップする図書館としての運営に努める。

(1) 資料の収集と整理

図書資料の充実を図るため、年間図書購入計画、寄贈図書の受け入れなどでその達成に努力する。

① 新刊本の選書等

新刊案内等により選書し、各分類別の平均化に配慮する。

利用者ニーズに応えるため、リクエストによる収集を行う。

② 郷土資料等の収集と保存管理

官公庁及び各種団体、企業、個人等が発行した郷土資料刊行物の収集と保存。

地域発行新聞・雑誌等を製本保存し、資料の蓄積に努める。

富士のある町として積極的に富士山資料の蓄積に努める。

③ 児童書等寄贈本の受け入れ整理

利用者からの寄贈本の受け入れを行う。

分類及び付帯装備と資料情報の電算入力作業。

④ 視聴覚資料の収集

AV資料の収集。

⑤ 廃棄図書の選択と整理事務

傷んだ本等を選択し除籍手続きをする。

ふれあい広場に合わせ、古雑誌市を開催する。

⑥ 蔵書点検・管理事務

年1回図書の移動、不明図書等把握のための点検作業を行い、蔵書管理に努める。

(2) 図書館活動・館内サービスの充実

資料情報センター及び生涯学習の拠点として、図書館資料を媒体とした活動を展開する。

① レファレンス等、利用者へのサービスに努める。

リクエストには、購入又は図書館の相互貸借を活用する。＝随時

② 読書グループ等の育成と援助

図書館ファンクラブ＝夏休み期間 定員20名(小学校3～6年生対象)

- ③ 絵本・紙芝居等の読み聞かせ
お話しコーナー＝館内利用者対象
- ④ 図書館ブックスタートの実施
メッセージを伝えながら絵本を手渡す、5・6か月児とその保護者を対象にした
“絵本を介しての子育て支援”を年6回実施
- ⑤ 図書館講座の実施
児童講演会、古典文学講座、図書館教養講座
- ⑥ 移動文庫、団体貸し出し
役場本庁と2支所に移動文庫を設置し、利用サービスに努める。
老人ホーム・幼稚園・学校等への団体貸し出しを奨励する。
- ⑦ ボランティア活動の育成
図書館活動協力員の募集＝活動通年 現在31名・絵本の読み聞かせと図書館整理
作業・ブックスタート
- ⑧ 図書館だよりの発行
毎月1回発行し図書館情報の広報に努める＝部数270枚
- ⑨ 本のリサイクル市の開催
家庭における不用本のリサイクル市を行ない、町民サービスの向上を図る。
- ⑩ セカンドブック事業の実施
ブックスタート事業のフォローアップとして、町内小学校新入学児童に絵本を
1冊ずつ贈呈。
- ⑪ 乳幼児・児童本(絵本等)の選定目録作成(よんでみて!この1冊)
館内及びPR用目録として200部作成し幼稚園、保育園、学校に配布。
- ⑫ 電算システムの運用
図書館電算システムの運用により、利用者用タッチパネルで検索が自由にできる。
- ⑬ 開館時間の延長
利用者の利便性をはかるため、毎週火～木曜日と日曜日は開館時間を午後6時まで、
金・土曜日は午後7時まで実施する。
- ⑭ 臨時学習室の開設
夏休み全日、学習者の利便をはかるために開館時間、臨時学習室を別室に随時
設ける。

(3) その他

- ① 図書館を利用したいと思っている身体障害者等の図書館利用、弱者の方々への
サービスの提供について積極的に機材を用意し利用に努める。

7 自主文化関係事業

いつきても何か楽しい文化会館を目標に、感動を与える事業の実施をすすめる。

(1) 文化活動を通じて、生涯学習を推進する

- ① 会館利用者、事業回数の増加
- ② いつきても何か楽しい会館づくりの推進
- ③ 会館ロビーの活用等、町民文化活動への援助
- ④ 幅広い年代で楽しめる自主文化事業の実施

内 容	開催日	内 容	開催日
スタインウェイを弾いてみよう①	4月19日(土)	ブロードウェイミュージカル「フットルース」	9月15日(月・祝)
スタインウェイを弾いてみよう②	4月20日(日)	中学校芸術鑑賞会 演劇「おけさのひょう六」	11月14日(金)
スタインウェイを弾いてみよう③	5月24日(土)	週末よしもと 爆笑ステージ i n 小山町	11月15日(土)
スタインウェイを弾いてみよう④	5月25日(日)	NHK公開番組「みんなDE どーもくん！」	12月7日(日)
スタインウェイを弾いてみよう⑤	6月14日(土)	クリスマス ファミリーコンサート	12月14日(日)
スタインウェイを弾いてみよう⑥	6月15日(日)	おやま人形劇フェスティバル	1月25日(日)
小学校芸術鑑賞会 東京プリモオーケストラ	6月26日(木)		
泉谷しげるL I V E 2 0 1 4	7月21日(月・祝)		
スタインウェイを弾いてみよう⑦	9月6日(土)		
スタインウェイを弾いてみよう⑧	9月7日(日)		

(2) 入場者の安全を確保するための、管理の充実

(3) 委託事業内容を点検し効率的な執行の確保

8 社会体育

(1) 体育施設等の有効活用

平成23年度からNP0法人小山町体育協会を体育施設の指定管理者として管理しており、総合型地域スポーツクラブも発足したため、体育施設等を活用し、両組織との連携により、各種教室や大会等を開催し、社会体育の充実を図る。

(2) 体育関係団体との連携

スポーツ推進委員によるスポーツ推進の日を設け、ファミリーバドミントンを中心に、ニュースポーツの普及推進を図る。

体育協会や地区体育振興会との連携により、地域に根ざしたスポーツ活動を展開し、生涯スポーツの振興を図る。

(3) スポーツ推進委員の派遣

各種団体の要請により、スポーツ推進委員を派遣し、生涯スポーツの振興を図る。

(4) スポーツ推進委員

任期 平成28年3月31日

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委 員 長	関 富 芳	委 員	岩 田 大 輔
副委員長	眞 田 拓 史	〃	田 代 真 紀
〃	武 藤 淳 一	〃	市 原 功 也
委 員	長谷川 和 之	〃	山 口 和 孝
〃	杉 浦 紀 子	〃	勝 亦 淳
〃	塚 原 昌 代	〃	望 月 一 馬
〃	高 杉 順 子		
〃	北 田 記 章		

(5) 体育施設の開放

学校体育施設開放	年間(有料)
町民プール開放(無料)	7月24日(木)～8月22日(金) 成美小学校内プール
夜間照明施設開放(有料)	4月 1日(火)～3月31日(火) 北郷・小山中学校内及び須走小学校内
スポーツ推進の日	毎月第4金曜日の午後7時～午後9時

(6) 各種大会の開催

- ・町関係
町民体育大会
- ・教委関係
レクスポ祭、ファミリーバドミントン&ソフトミニバレー大会、スポーツ少年団交流大会
- ・体協関係
町民スポーツ祭、富士マラソンフェスタ、町内一周駅伝大会及び周回コース駅伝大会

(7) 各種教室、講習会の開催

スポーツ推進委員：スポーツ推進の日

総合型地域スポーツクラブ：ストレッチ教室、ピラティス教室、ヨガ教室、体育教室
一輪車教室、水泳教室、社交ダンス教室、ジュニアバドミントン教室等

(8) その他

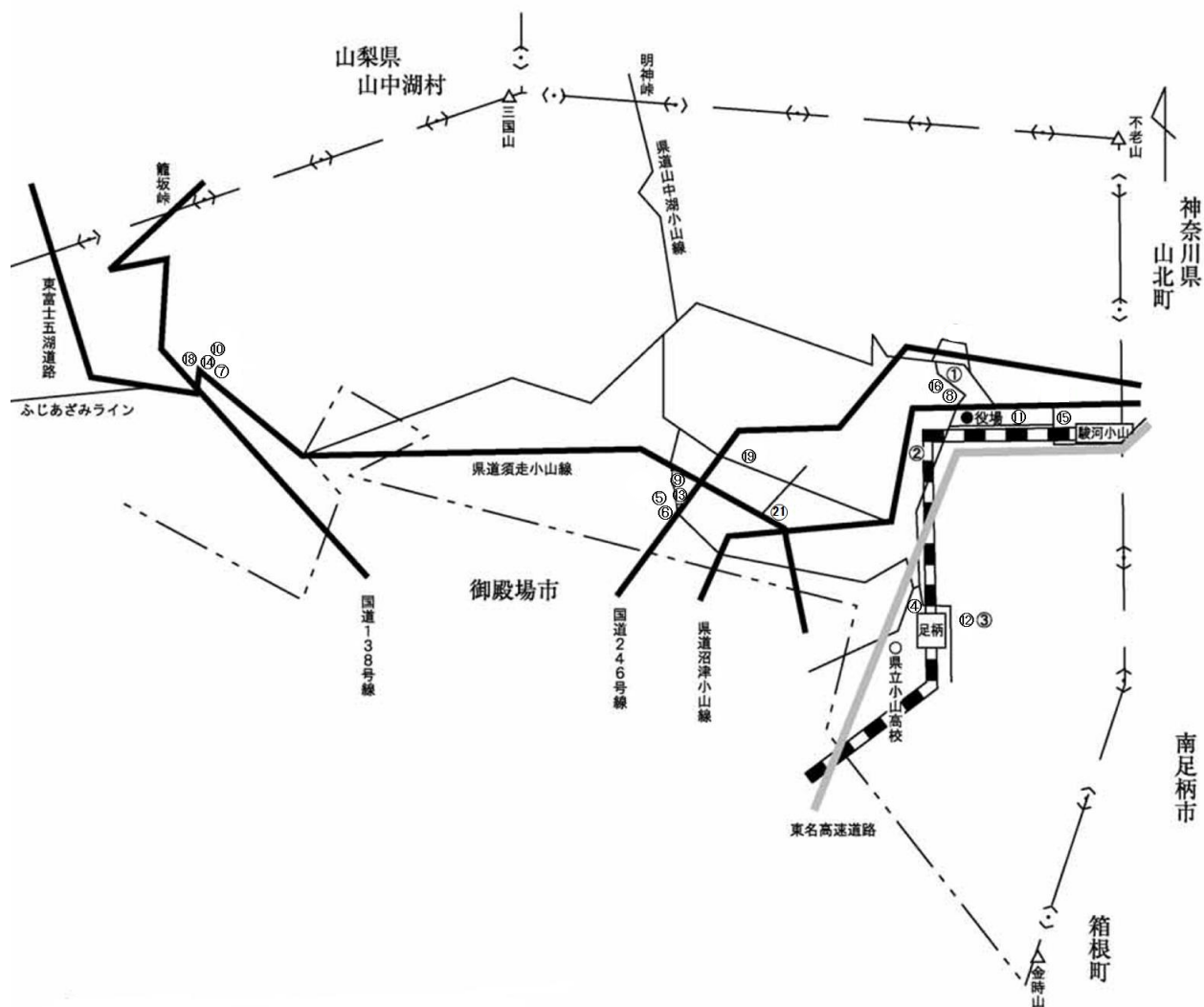
駿東地区レクスポ大会、しずおかスポーツフェスティバル、静岡県市町対抗駅伝大会
国民体育大会等参加奨励、各種団体・大会への助成

(9) 小山町体育施設一覧

総合体育館	所在地	小山町阿多野125
	敷地面積	27,214.24㎡（総合文化会館を含む）
	建物面積	1階 2,587.44㎡ 2階 976.27㎡ アリーナ 34m×54m 観覧席 288席
	延床面積	3,563.71㎡
	開設	平成8年4月
	電話番号	76-5708
多目的広場	所在地	小山町吉久保40-1
	敷地面積	17,514㎡
	用途	400mトラック・サッカー・ ソフトボール・ゲートボール
	規模	屋外便所 70.0㎡ シェルター 48.0㎡
	駐車場収容台数	124台
	開設	平成6年6月
小山球場	所在地	小山町阿多野35
	敷地面積	16,680㎡
	建物面積	535.84㎡ (管理棟 497.6㎡) (ダックアウト 19.12㎡×2) 観客席 780席
	グラウンド	両翼94m・中堅121.9m バックストップ 18.6m
	開設	平成6年6月
小山道場	所在地	小山町吉久保5-1
	敷地面積	427.67㎡
	建物面積	157.41㎡
	延床面積	167.13㎡
	開設	平成9年3月
弓道場	所在地	小山町阿多野136-8
	敷地面積	1,285㎡
	建物面積	165.02㎡（射場 125.87㎡） （的場 39.15㎡）
	開設	平成6年4月

町民プール (成美小学校のプールを代替使用)	所 在 地	小山町藤曲150-2
	本 プ ール	①50m×15m
	小 プ ール	②22.5m×4.5m
	開 設	①昭和34年9月 ②昭和51年3月
小山地区児童屋内体育施設 (小山中に併設)	所 在 地	小山町藤曲144-10
	建 物 面 積	1,478.61㎡
	開 設	昭和57年3月
菅沼地区児童屋内体育施設 (明倫小に併設)	所 在 地	小山町菅沼630-6
	建 物 面 積	1,122.66㎡
	開 設	昭和53年3月
用沢地区児童屋内体育施設 (北郷小に併設)	所 在 地	小山町用沢604-7
	建 物 面 積	1,126.26㎡
	開 設	昭和56年3月
小山地区夜間照明施設	所 在 地	小山町藤曲144-10
	照 明 灯	8基
	用 途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開 設	平成10年4月
北郷地区夜間照明施設	所 在 地	小山町用沢351-2
	照 明 灯	6基
	用 途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開 設	昭和57年4月
須走地区夜間照明施設	所 在 地	小山町須走70-18
	照 明 灯	8基
	用 途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開 設	平成13年4月
小山町パークゴルフ場	所 在 地	小山町吉久保221
	面 積	8,739㎡
	コ ー ス 全 長	804m
	A(ふじ桜)コース	9ホール パー33
	B(菜の花)コース	9ホール パー33
	開 設	平成15年4月
	電 話 番 号	090-4408-5386

V 小山町教育機関等配置図



- | | |
|--|--|
| ① 成美小学校
成美小学校放課後児童クラブ | ⑪ 駿河小山幼稚園 |
| ② 明倫小学校
菅沼地区児童屋内体育施設
明倫小学校放課後児童クラブ | ⑫ 足柄幼稚園 |
| ③ 足柄小学校 | ⑬ きたごうこども園 |
| ④ 足柄小学校放課後児童クラブ | ⑭ 須走幼稚園 |
| ⑤ 北郷小学校
用沢地区児童屋内体育施設 | ⑮ いきど保育園 |
| ⑥ 北郷小学校放課後児童クラブ | ⑯ すがぬま保育園 |
| ⑦ 須走小学校
須走小学校放課後児童クラブ | ⑰ すばしり保育園 |
| ⑧ 小山中学校
小山地区児童屋内体育施設
夜間照明施設 | ⑱ 生涯学習センター
総合文化会館
図書館
総合体育館
多目的広場
小山球場
弓道場
小山道場 |
| ⑨ 北郷中学校
夜間照明施設 | ⑳ パークゴルフ場 |
| ⑩ 須走中学校 | |

小 山 町 教 育 委 員 会

こ ども 育 成 課 〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57番地の2
TEL : 0550-76-6122(学校教育班)
0550-76-6126(こども育成班)
FAX : 0550-76-2795

生 涯 学 習 課 〒410-1321 静岡県駿東郡小山町阿多野130番地
TEL : 0550-76-5700
FAX : 0550-76-3290

平成26年度

小 山 町 の 教 育

平成 2 6 年 1 0 月 1 日 発行

発 行 者 小山町教育委員会

題 字 岩 田 明 倫